

# 東京白楊だより

vol.40

H.29 9.2 (2017)

白楊ヶ丘同窓会東京支部  
旧制函館中学校 函館中部高等学校  
<http://kanchu-tokyo.sakura.ne.jp/>

会報40回  
記念号



2・3号は合併号、10・11号は同じ写真を使用



第40回親睦大会報告  
親睦大会40年のあゆみ  
同期会だより

第64期 第67期 志丸会  
第71期 第72期 さつき会  
第78期 第79期 七草会

函・中・人

第97期 松川文弥 (数学塾講師)  
第69期 竹本義明 (名古屋芸術大学学長)

随想

「ウイン演奏旅行に参加して」 第73期 小野田和子  
「30年ぶりの出会いから生まれた」 第81期 松永久

追悼 二上達也

第69期 梅田やよい

第一回新人歓迎会

お台場でBBQ!

NEW!  
新人さん  
歓迎企画  
発足!!

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より、各方面のご支援とご協力に厚く御礼申しあげます。

昨秋の親睦大会をもって、前任の67期・安田康次氏から支部長を交代しました、76期の白川正広です。

本年度の東京支部の親睦大会は、11月18日にグランドアーク半蔵門で開催の予定です。昨年50歳を迎えた87期の皆さんが中心になって企画を詰めて下さっています。また、87期の皆さんには、若手の層への働きかけなど支部の運営面でも積極的に参画していただいております。彼らの企画の親睦大会は、従来にない斬新で楽しいものとなるはずです。この3月に母校を卒業された新卒の皆様からベテランの先輩まで、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

世相の変化がいろいろある中で、この会報も40号を数え、親睦大会も今回で41回目となります。これからも、本会の活動を継続発展すべく、様々なことに取り組んで参りたいと考えております。

そのためには、若い世代の方々のご参加が欠かせないと考えております。若い世代の方々は、お仕事や子育てと、同窓会に関わる時間がなかなか取れないかもしれません。その中でも、ご友人間で連絡の糸を保っていただき、公私共に余裕が出来た際には、親睦大会に同期の皆さんをお誘いあわせて足を運んでくれることを期待しております。

今年も函館中部高校をご卒業された210名の方々が、新たな同窓生となりました。その中には、函館を離れ札幌や関東の大学へ進学された方も大勢おられると聞いております。このような新卒の方々も含め、同窓の皆さんが同窓会を通して連絡を取り合える場を作るべく、FacebookやHPなどの活用、新人歓迎会などのイベントなど、若手メンバーが中心となり企画運営を進めています。

親睦大会幹事期のリレーを絶やさないといい点では、50歳になった期が親睦大会の企画運営の中心となるルールを今後も定着させて、次の期へとしっかりとバトンタッチしていきたいと考えています。毎年、この50歳前後の世代が親睦大会出席者の「多数派」となり、この年代の皆さん自身が最も楽しめるような会に変えていただければ面白い展開になるものと期待しております。

役員一同、今後も同窓会の一層の発展に努力して参ります。引き続き、皆様のご指導ご協力並びにご支援をお願いしまして、ご挨拶とさせていただきます。



第76期 昭和49年卒

白川正広



# 学校の近況について

北海道函館中部高等学校  
第38代校長 中島 悟



## 1 はじめに

白川正広支部長様を始め、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には日頃より本校への温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、この度の白楊ヶ丘同窓会東京支部第四一回親睦大会のご盛会を心からお慶び申し上げます。

## 2 部活動の活躍

生徒は日々の勉学に励む中、部活動にも全力で取り組んでいます。五月末に行われた高体連函館支部の大会では、剣道部、弓道部、硬式テニス部、バドミントン部がそれぞれ男子団体優勝に輝き、女子バスケットボール部も支部大会四連覇を果たすなど目覚ましい活躍をみせてくれました。この他、ハンドボール部、陸上競技部、卓球部、柔道部、水泳部、体操部、将棋部、放送局及び吹奏楽局と全部で十四の部局が全道大会へ駒を進めました。吹奏楽局はA編成では二十九年ぶりの全道大会進出となりました。このうち、陸上部、テニス部、文化系では放送局と女子個人戦で全道優勝した将棋部三年生の阿部奈緒さんがそれぞれ全国大会へ出場しました。

## 3 進路状況

平成二十九年度の進学状況についてお知らせします。国公立大学合格者は現役九十一名（昨年度百十三名）・過年度二十八名・計百十九名、私立大学には現役合格者が延べ百六十二名・過年度二十四名・計百八十六名となりました。国公立大学の現役合格者は卒業した生徒数が例年よりも二十名ほど少なかったこともあり、百名を超えることはできませんでした。しかし、京都大学や一橋大学など国立難関校に現役合格者を出し、また、私立大学では、早稲田、慶應、明治、法政、立教など首都圏の大学にも多数合格しています。卒業生の健闘を高く評価したいと思います。医学部医学科の現役合格者はいませんでしたが、過年度生が頑張る北大一名、東北大一名、旭川医大二名、札幌医大一名と全体で五名の合格者を出しました。

今年の進学状況を振り返ると、全体的に理系が不振の年でした。今年度の入試結果を分析し、教育課程の見直しを含め、これからの対応についてしっかりと検討し、改善を図って参ります。

## 4 学校の近況

本年四月十日に新入生二百四十名を迎え、全校生徒七百十九名で平成二十九年度がスタートしました。今年の高校入試は、当初出願者が三百三十三名、倍率も一・四倍と近年では高い競争率となりました。それだけに、入学式でみせた新入生の表情は、緊張の中にも中部高校へ入学する喜びとこれから始まる高校生活への期待と希望に満ちていたのが、大変印象的でした。

本校は各教科で特色ある教育実践を行っていますが、中でも英語教育は全国的にも高く評価されています。昨年三月に、財団法人英語教育協議会（E.L.E.C.）の最高賞である文部科学大臣賞を受賞しました。この反響は大きく、昨年一年間に全国各地から計十一の視察訪問があり本校の英語教育の注目の高さを改めて感じました。今年度は北海道教育委員会から英語力向上事業の指定を受け「中部の英語」の授業実践を全道に発信する役割が与えられています。二〇二〇年度には大学入試センター試験に代わる「大学入学共通テスト（仮称）」が導入され、英語の試験は「読む・書く・聞く・話す」の四技能が評価されます。本校英語科で積み重ねてきた教育実践は新テストにおいても十分通用するものと自信を深めています。

## 5 学校経営

函館市は平成十六年の合併当初は人口三十万人を越えていましたが、現在の人口は二十六万人まで減少しています。こうした影響により、平成二十九年度に函館西高校が一学年四学級から三学級に減り、平成三十年には市立函館高校が八学級から六学級への学級減が予定されています。更に、平成三十一年度には函館西と函館稜北が再編統合した新設校が開校します。これからの三年間で函館市内の公立高校の状況は大きく変化することが予想されます。

こうした中、各学校にはこれまで以上に特色豊かな教育活動の実践と質的向上が求められています。函館中部高校は、歴史と伝統を誇る道南の進学校としてその地位を確固たるものにして行かなければなりません。その実現に向けて、学校経営方針の第一に「生徒の将来ビジョンを育み、進路を実現する確かな学力を育成すること」を掲げています。中部高校へ入学してくる生徒のほぼ全員が進学希望であり、中学校の成績はトップレベルの生徒ばかりです。こうした優秀な生徒を中部高校の三年間でしっかり育て、子どもたちの進路を実現していくことが、地域や保護者の皆様からの期待と信頼に応えることと考えています。

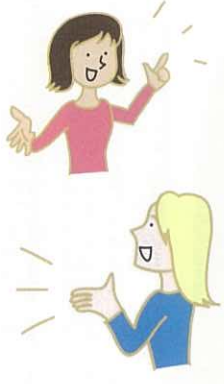
学力の向上に向けては、朝学習、土曜講習、夏期・冬期講習を始め、三年生では課外講習を実施しています。キャリア教育については進路講演会、卒業生による合格体験発表、医学セミナーや医療体験、

## 6 おわりに

大学の先生による出前講義、八十校を超える大学が参加する大学進学相談会を開催しています。これらの取組は私学にも決してひけを取らないものと自負しています。現在本校で行っている様々な特色ある取組を更に工夫・改善し、実効性のあるものにして参ります。

本校は昨年からは北海道高等学校野球連盟函館支部の事務局校を受け持ち大会運営に携わっています。ところで、函中野球部は創立が明治三十二年、今年で創部百十八年になります。この間、過去二回全国大会へ出場した実績があります。初出場は大正十年、二回目は昭和二十一年です。今年の夏は支部大会準決勝で惜しくも敗退しましたが、いつか函中野球部が三回目の全国大会出場を果たし、甲子園のグラウンドに立つ日が来ることを、同窓生の皆様とともに期待したいと思っております。

結びになりますが、同窓生の皆様にはこれからも本校への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会東京支部の益々のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。近況報告といたします。



# 親睦大会報告

白楊ヶ丘同窓会東京支部

校歌斉唱



## 理事会と有志による開催



白楊ヶ丘同窓会東京支部、第40回親睦大会は2016年10月22日(土曜日)13時より、グラウンドアーク半蔵門にて盛大に行われました。

今大会は理事会メンバーと各期有志の皆様による企画、実行となりました。

昨年3月には北海道新幹線が開通しました。世代により東京函館間の移動は、青函連絡船から青函トンネルまたは空路へ、また国鉄もJRへと変わってきておりますが、ふるさとの函館への想いは、同窓生みな同じではないでしょうか。今回の親睦大会には、特にテーマを設けず、ふるさと函館を思い浮かべ大先輩から最近の卒業生の皆様が楽しく有意義に集える場となるよう企画をいたしました。

## 会場準備

当日は、10時30分に理事会メンバーと各期有志が集合し、会場の設営、受付準備を開始しました。集まったスタッフの朝礼では、

配布物整理、受付の準備、会場設営へと役割毎に班分けをしました。その中、会場の設営では同窓会旗設置の方法や写真展示の配列などについて各担当内で喧々諤々、イベントの津軽三味線の音合わせ、ピアノの音確認、そして、受付では名札の並び替え、両替の準備等、来場される方々を迎えるため準備に追われました。

## 主催者代表挨拶

司会は78期の岡部あさ子氏に進めていただきました。



司会 岡部あさ子氏

白楊ヶ丘同窓会東京支部長67期の安田康次氏より「ご来賓をはじめ多数の方にお越しいただき開催できたことへの感謝、また今回は昭和52年の第1回より会を重ね40回となった」「4月の評議員会で、新支部長として76期の白川正広氏に引き継ぐことが承認された」とのご挨拶。引き続き、白川新支部長より「新幹線も開通し新たな時代を迎え、より明るく多くの方が集える場を、伝統をしっかりと引き継ぎつつ新役員共々尽力して設けていきたい」とのご挨拶がありました。

## 同窓会歌斉唱



支部長交代



同窓会歌斉唱

旧制函館中学ご入学の先輩にご登壇いただき、78期の島津路郎氏のピアノ伴奏、そして、105期の小林秀輝氏の指揮のもと、大先輩の力強い声のリードで同窓会歌が斉唱されました。最後に43期の神山茂郎氏より「5年間毎朝校歌を斉唱した！後輩諸君元気で頑張れ！」とのエールが送られました。



懇親会スタート

今回は校長先生並びに本部支部及び各校同窓会代表の合計9名のご参加をいただきました。来賓を代表して函館中部高校の中島悟校長より「昨年の創立120周年記念式典へのご支援のお礼、今年卒業生の進学状況、活発なクラブ活動状況、新幹線開通に伴い東京・東北方面からの学校視察、観光客も多数あった」旨のご挨拶をいただきました。

来賓紹介



白楊ヶ丘同窓会幹事長69期菊池有人氏により、「昨年の創立120周年記念式典は1100名の参加があった。そして、協賛金も予定を大幅に超える協力をいただけたことで、大成功に終わった」との挨拶がありました。その後、乾杯のご発声をいただき、歓談に移りました。

イベント



今年は、津軽三味線全国大会優勝の実力者北村姉妹（姉まお、妹みり）による津軽三味線の演奏が行われました。演奏は、「津軽じょんがら」に



北村姉妹の見事な津軽三味線

インフォメーション

会報「東京白楊だより」原稿の募集を行いました。同期会報告に

始まり「ソーラン節」「荷方節」「こぎりこ節」と進みました。「ソーラン節」では会場から、「ドッコイシヨ ハードッコイシヨドッコイシヨ」「ハイハイ」の掛声と手拍子がおこり、会場は大いに盛り上がりました。最後には会場からアンコールの声が多数かかり再度「ソーラン節」で幕を閉じました。また、会場の壁には写真家72期丹羽修氏提供の「道南フォト」のタイトルのもと函館、周辺地区の写真が展示されました。多数の写真の中には、きつと皆様の思い出とリンクする風景もあったかと思えます。

新入会員のご紹介

限らず、学生時代の思い出などのご寄稿のお願いをしました。68期の白崎淳一郎氏より長年携わった労働基準行政の図書を紹介、また81期今井雅子氏より油彩画個展のお知らせがありました。

平成28年卒118期の井ヶ田大和氏、田沼宗一郎氏が紹介され「宜しく願います」との挨拶がありました。



新人さん自己紹介

校歌斉唱と三本締め

恒例の校歌斉唱は、78期の島津路郎氏のピアノ伴奏と105期の小林秀輝氏の指揮のもと、音楽部に所属していたOBOGが登壇しリードしながら、声高らかに斉唱されました。その後99期の朝緑高太氏の音頭で三本締めとなり、午後3時に閉会となりました。

大会終了後のアンケート

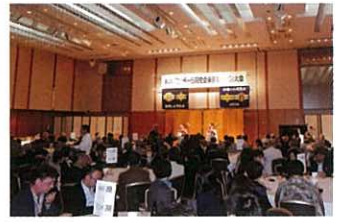
ご出席いただきました皆様にもメールや評議員を介して、アンケートへのご協力をいただきました。28名の方から回答をいただきました。評価いただく内容でしたが、若い期の参加者の減少、イベント、料理内容、当日運営に関するご指摘もいただきました。

特に若い期の方の減少は大きな課題と認識しております。更に検討してまいります。アイデアをお持ちの方はホームページ等にお寄せいただければ幸いです。

また当日運営に関するものは反省改善してまいります。今後更に先輩から若い期の皆様が楽しく有意義となる親睦大会を企画していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしく願います。



効果音



## 第40回 親睦大会出席者一覧

平成28年10月22日(土) グランドアーク半蔵門

### 来 賓

函館中部高等学校 校長	中島 悟	東京函商同窓会 会長	道下 佳拓
白楊ヶ丘同窓会 幹事長	菊池 有人	東京函商同窓会 幹事長	三盃 善信
白楊ヶ丘同窓会札幌支部 支部長	黒田 信彦	函館工業高等学校同窓会関東支部 支部長	本間 和吉
白楊ヶ丘同窓会関西支部 事務局	山川 泰宏	函館ラ・サール学園同窓会東京支部 支部長	栞原 康雄
函館西高等学校つじヶ丘同窓会東京支部 会長	佐々木 太郎	函館ラ・サール学園同窓会東京支部 広報担当委員	山田 秀樹
函館東高等学校関東青雲同窓会 会長	檜森 兄元		

- 第43期 昭和16年卒 葛西善一郎/神山茂郎
- 第51期 昭和23・24年卒 奥山和宏/小野寺吉彦/三國比左男
- 第54期 昭和27年卒 松田守正/遠藤宏/納代鉄也
- 第55期 昭和28年卒 北原徹
- 第56期 昭和29年卒 加藤正秋
- 第57期 昭和30年卒 川口千代/小竹嘉子/鈴木尊子/  
村嶋泰子/吉田精吾
- 第58期 昭和31年卒 坪田憲俊/永野巖/藤原正樹
- 第59期 昭和32年卒 真船昭
- 第60期 昭和33年卒 上平慶一/白戸寿男/内藤尚/  
水江彰一/宮川満子
- 第61期 昭和34年卒 大久保泰宏/金子公彦/菊池紀邦/  
長尾邦吉/佐々木住明/藤田美穂子/  
/三上和子
- 第62期 昭和35年卒 池田長/石原雄一郎/大味勲
- 第63期 昭和36年卒 石崎篤子/小野武司/中村崇/  
山崎良英/依田洋次/渡辺信英
- 第64期 昭和37年卒 大原淳一/佐々次郎/佐々木京子
- 第65期 昭和38年卒 小嶋正歳/菅原大作/高野晃/  
高橋久雄
- 第67期 昭和40年卒 石橋信彦/稲越淳子/相馬研二/  
高木隆弘/根本京子/平塚平三郎/  
松田幹夫/三上英雄/宮川憲司/  
安田康次
- 第68期 昭和41年卒 大河原綾子/児玉久美子/木戸正文/  
及能誠一/白崎淳一郎/田中恵子/  
横田依早弥
- 第69期 昭和42年卒 梅田五郎/梅田やよい/江澤富士代/  
河村裕/佐藤一廣/瀬戸武一/  
花巻省三
- 第70期 昭和43年卒 牧野正寛
- 第71期 昭和44年卒 加納元雄
- 第72期 昭和45年卒 大森もと子/神垣善一/小林繁治/  
笹川浩史/佐野香苗/関谷一郎/  
谷口雅典/古旗邦夫/松本浩/  
村上誠一/村田秀樹/渡部敏雄
- 第73期 昭和46年卒 森山耐介/山田朗
- 第74期 昭和47年卒 関昌弘
- 第75期 昭和48年卒 金丸洋一/野田いずみ

- 第76期 昭和49年卒 加藤誠也/下國直人/白川正広/  
曾我正彦/高野勝弘/中村三保/  
林ひとみ
- 第78期 昭和51年卒 岡部あさ子/垣坂清/島津路郎/  
長澤一徳/宮崎恒春
- 第79期 昭和52年卒 樋口澄則/西田勢津子
- 第81期 昭和54年卒 木田信子/渡辺由美子
- 第82期 昭和55年卒 清水真/本田光宏
- 第83期 昭和56年卒 田口志保
- 第84期 昭和57年卒 藤田勲/今井雅子/江原みちな
- 第85期 昭和58年卒 加戸茂樹/桑村友章/幡谷 恵/  
柳川清尊
- 第88期 昭和61年卒 内田佳織/菊地なぎさ/小島和代/  
橋山智訓/村田雅彦/柳原弘枝
- 第97期 平成 7年卒 浦崎洋樹/野村武史
- 第99期 平成 9年卒 朝緑高太
- 第105期 平成15年卒 小林秀輝
- 第118期 平成28年卒 井ヶ田大和/田村宗一郎

参加者数 137名



ピアノ演奏: 島津路郎(第78期)

# 白楊ヶ丘同窓会東京支部 親睦大会40年のあゆみ



開催日	支部長	参加人数	イベント又はテーマ
第1回 1977/11/22 松屋サロン	斎藤 鎮雄	368名	ラッフル抽選会 (一枚1,000円) 賞品数370点 七宝の宝箱、王貞治選手サインボール、 二上達也九段サイン入り将棋駒等
第2回 1978/11/22 松屋サロン	↓	254名	ラッフル講演:「棋風将棋界のうら話」 講師: 二上達也 (52期) ギターの流れで演歌、元音楽部員のコーラス、 思い出の歌数曲合唱
第3回 1979/10/1 松屋サロン	北川 有光	223名	ラッフル抽選会 (一枚1,000円) 売り上げ百万円以上
第4回 1980/10/30 ホテル・オークラ	↓	265名	16ミリ映写会「懐かし故郷の風景」 立食パーティ形式
第5回 1981/10/23 ホテル・オークラ	村上 敏夫	201名	「獅子舞の余興」
第6回 1982/10/15 乃木坂健保会館	↓	222名	専門分野の思い出話 : 橋本晋一 (柔道)、二上達也 (将棋) 佐藤宣哉 (柔道)、天野清二 (野球)
第7回 1983/10/21 乃木坂健保会館	↓	188名	総会→懇親会に変更
第8回 1984/10/19 マツヤサロン	↓	152名	
第9回 1985/10/24 ホテル高輪	池田 和行	228名	特別企画函中90周年記念物品即売会
第10回 1986/11/21 ホテル高輪	↓	206名	親睦大会10周年記念、郷土函館の産地直送物産展
第11回 1987/11/21 マツヤサロン	↓	190名	講演:「さよなら青函連絡船」 講師: 函館市東京事務所所長
第12回 1988/11/24 東京青山会館	↓	170名	アトラクション: 抽選会 景品: 将棋連盟のテレカ、色紙、絵画、書籍など
第13回 1989/10/25 東京青山会館	篠田 作衛	230名	講演:「終わりの始まり(素人時代の幕開け)」 講師: 早坂茂三 (51期) アトラクション: ビンゴ大会 景品: 洋酒、テレカ、書籍など200点
第14回 1990/10/17 東京青山会館	↓	180名	講演:「健やかに生きる」 講師: 三浦祐晶 (41期)
第15回 1991/10/8 東京青山会館	↓	150名	講演:「激動の世界と日本経済-加速-巡航落とろ六」 講師: 山村昭七郎 (48期) アトラクション: 抽選会 景品: 北海道産ジャガイモ、洋酒、テレカ等100点
第16回 1992/10/15 東京青山会館	二上 達也	150名	講演:「デザインの役割と活し方」 講師: 平野拓夫 (51期) アトラクション: 抽選会 景品: 北海道産ジャガイモ、洋酒、テレカ、など
第17回 1993/10/15 ハートイン乃木坂	↓	160名	フルートとハーブによるリラククスコンサート フルート: 星川龍二 (64期)、ハーブ: 伊藤元子 米木かをり (69期) ピアノソロ アトラクション: 抽選会
第18回 1994/10/21 ホテルフロラシオン青山 (東京青山会館)	↓	170名	講演:「動物の故郷を訪ねて」 講師: 菊池昶史 (ひさのぶ 52期) アトラクション: 抽選会
第19回 1995/9/15 アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	↓	160名	ジャストリオ演奏会 ベース: 米木康志 (73期)、ピアノ: 元岡一英、 ドラム: 本田珠也 アトラクション: 抽選会 景品: 洋酒、テレカ、など
第20回 1996/10/18 アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	↓	180名	講演:「ストレス時代の心とからだの健康」 講師: 山本晴哉(68期) アトラクション: 抽選会

開催日	支部長	参加人数	イベント又はテーマ
第21回 1997/10/8 アルカディア 市ヶ谷(私学会館)	↓	160名	講演:「幕末箱館の明と暗」 講師: 渡辺憲司(65期)
第22回 1998/10/24 日本プレスセンターホール	↓	160名	講演:「渡り鳥のふるさとを追って」 講師: 相馬正樹 (40期) 寄贈品の抽選会 (80点)
第23回 1999/10/22 九段会館	↓	210名	講演:「花と出会う、人と出会う」 講師: 安藤牧子 (69期) 寄贈品の抽選会 (80点)
第24回 2000/10/27 星陵会館	↓	170名	講演:「東洋医学に学ぶ心とからだの健康法」 講師: 片山明子 (54期)
第25回 2001/10/27 青山ダイヤモンドホール	杉田 博子	190名	講演:「箱館の歴史に息づく生命、新世紀へのメッセージ」 講師: 佐渡谷安津雄 (64期) 特別企画歌3曲: 山形タ佳 (う〜み98期) 寄贈品の抽選会 (90点)
第26回 2002/10/18 青山ダイヤモンドホール	↓	220名	ジャズバンド ゴールドウィングス・ジャズオーケストラ 特別企画歌: 山形タ佳 (う〜み98期)
第27回 2003/10/25 青山ダイヤモンドホール	↓	190名	ビデオ:「2003年はここで白楊ヶ丘物語」 ビデオ製作: 金谷稔 (54期) アトラクション: 尺八とシンセサイザー複合演奏 演奏: 岳人山 (がくじんざん)
第28回 2004/10/23 青山ダイヤモンドホール	金子 公彦	220名	講演: 私の経営観、人生観 講師: 佐々木住明 (61期) ジャズ生演奏&女性ボーカリストの唄
第29回 2005/9/11 ホテルフロラシオン青山	↓	226名	アトラクション: 我が青春時代を語る フルートリサイタル フルート: 阿部博光(75期) ピアノ: 阿部佳子
第30回 2006/9/30 青山ダイヤモンドホール	↓	200名	ジャズ演奏: コットンクラブピアニスト ピアノ: 加茂紀子(76期)、ボーカル: 仲谷美波(ネネ 99期) 函中110周年ビデオ 「白楊魂とともに-函中110年そして今」
第31回 2007/11/10 青山ダイヤモンドホール	↓	199名	DVD「函館の歴史」 卒業生青春時代を代表する昭和の名曲合唱
第32回 2008/10/18 青山ダイヤモンドホール	安田 康次	198名	テーブル対抗・奇問・珍問クイズ大会 ラヴシック演奏 ピアノ: 清野たかし、 ボーカル: 清野寿美子
第33回 2009/10/24 霞山(かざん)会館	↓	223名	DVD上演:「イカル星人」 「きむら啓子ひとり劇場」出演: きむら啓子他
第34回 2010/10/30 ホテル東京 ガーデンパレス	↓	212名	DVD上演:「イカル星人(五稜郭箱館奉行所編)」 80期手作りDVD「函館中部高校の今」 「函館中部高校のまさに今」スカイ中継
第35回 2011/10/29 ホテル東京 ガーデンパレス	↓	196名	「函館へ帰ろう!」函館の商店や名物紹介ビデオ 我妻先生、駒井先生のビデオメッセージ
第36回 2012/9/30 京王プラザホテル	↓	213名	講演:「海を見よ-函館…」 講師: 渡辺憲司 (65期)
第37回 2013/10/12 グランドアーク半蔵門	↓	169名	「マジックショー」 : とむやむくん&ものまねショー
第38回 2014/11/8 グランドアーク半蔵門	↓	170名	講演:「産婦人科から見える日本の少子化」 講師: 小栗松洋子 (84期) 講演:「ハコダテ事情・最近のまちづくりの様子」 講師: 青田基 (84期)
第39回 2015/11/14 グランドアーク半蔵門	↓	177名	講演:「映画監督が語る被写体としての函館」 講師: 富樫森監督を木村達哉 (85期) がインタビュー 懇親会全員着席
第40回 2016/10/22 グランドアーク半蔵門	安田 康次 白川 正広	137名	イベント: 津軽三味線 (北海盆唄など) 三味線: 北村姉妹 (きたむらまお、みり) 写真展示: 丹羽修 (72期) 道南の写真 懇親会全員着席

年表作成: 松田幹夫 (第67期)



# 同期会だより

第64期

佐々木 京子

西伊豆一泊観光と屋形船で  
夜景を楽しむ  
第40回目の同期会

今年でツアー旅行最後のつもりで、皆に希望を挙げてもらい、人気が高かった「屋形船」を含む旅程を考えました。私達、東京方面の世話人は、外国人の旅行ブームなどの混雑を考慮して正月明けから計画を練り始めました。

**\*第一日目(10月19日)**

札幌、函館方面から参加の26名(うち家族2名)を羽田で迎え、羽田集合の仲間との合計38名でバスに乗り込み、同期会会場の西伊豆旅館の堂ヶ島温泉ニュー銀水に到着しました。

ひと風呂浴びてから、直接旅館入りの仲間も入って42名で同期会が始まりました。

幕開けに幹事の〇君の挨拶、I君の乾杯の音頭、続いて今年初参加のK君の挨拶、そして今年逝去された5名を含む55名の逝去者への黙祷を捧げました。そのあとは、皆それぞれ何年ぶり?あるいは何十年ぶり?との会話が一齐に解け出しました。飲んで、食べて、喋

って、皆、これを待ち構えていたようにエネルギーいっぱい宴会場。



2016年(平成28年)10月19日 西伊豆堂ヶ島温泉 堂ヶ島ニュー銀水

旅館のお膳は、海の幸が満載で、刺身は勿論、きんめの煮付け、焼き物などたっぷり私達函館人も充分堪能できました。ただ、食べて喋ると、中々ゆっくり味わってられない。口はひとつしかないから。ここで、いつもお世話してくれている函館の世話人K君が真面目な顔で、「同期会の会費が底をついてきています。未だみんな元気なんだから、ひと踏ん張り。丁度節目の喜寿まで、会の活動を続けようじゃないか!」と発言。



そのことに皆賛同しました。そして、一周したお盆には予想を上回る金額が集まり「4年後の喜寿に向けて心配のない運営費を確保できました。」と発表がありました。この後、恒例のK君が、帽子から下駄まで持ち込みでの応援団長儀式的の拍手とともに声高らかに校歌斉唱で締めました。

二次会会場の部屋には殆ど全員が出たり入ったりで、楽しいお喋りが始まりました。

函館からの海産つまみやこちらで用意したお菓子などで、ワインや日本酒、焼酎などの瓶が次々と空けられて、口はますます滑らかに。今回は、女子の参加が増えて、あちこちからキヤーカーと歓声があがっていました。大阪からのMさんが当時の写真を持ってきたものだから、話は一気に高校の時に飛び、そして、みんな結構記憶力が良くて、先生の話、部活の話など、まるで冷凍庫から自然解凍された青春が蘇ってくるようでした。

未だ宴半ばで幹事の〇君は、自室で爆睡の様様。お疲れ様です。

**\*第二日目(10月20日)**

まず、朝風呂を浴びてから朝食をとりました。皆元気な顔で集合

ここで解散の二人に見送られてバスに乗り、宿を出発しました。

伊豆のパノラマパークロープウェイ

富士山絶景の展望台に昇って、懐かしい友達と記念撮影。すぐ背中に富士山の気配が感じられる地点で気分は爽快でした。北海道組から、「2、3日前は函館では雪が降ったんだよ。こっちはまるで夏だ。」とのこと。ベンチに座って食べた、ソフトクリームとアイスコーヒーがとても美味しかったです。

〈葦山反射炉〉

2015年7月に世界遺産に登録されました。噂に名高い場所のわりにはピンと来ていなかった私も学習できた良い企画でした。

そもそも反射炉とは、鉄を溶かす為の溶解炉とのこと。葦山反射炉は江戸時代末期の葦山代官、江川太郎左衛門英龍(坦庵)らが中心となって作られたもので、当時の日本に迫る諸外国の軍隊に備える為、反射炉で鉄製の大炮を製造し、江戸湾内海台場(品川台場)を初めとする砲台を設置することを目指したとのことでした。安政元年(1854年)に起工された後、英龍の死や、安静の大地震による破損などがあったものの、これらの困難を乗り越えて作られたとのことでした。

あの独特の煙突か槽のような、和紙で作った模様のような外観からはすごい兵器が造られていたとは想像できない感じでした。ここ

## 株式会社イコー建設

一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 一廣 (69期)

〒165-0033 東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F  
電話: 03 (3223) 0168(代) FAX: 03 (3223) 0658  
mail: k-sato@f-rn.co.jp



グランドメゾン白金レジデンス

株式会社宮川憲司建築事務所  
Environmental Planning & Design  
<http://www.k-miyakawa-arch.co.jp>



## 志丸会

東京支部

第67期 昭和40年卒業

で、丁度伊豆の国市に住んでいるわれら仲間のH君が車中で立派な現地ガイドを披露、地元の「韭山ばやし」を歌唱指導してくれて皆で当時を偲んで歌いました。これには本物ガイドさんも大変感動していました。

〔三島の大吊橋・スカイウォーク〕

箱根西麓に位置しているこの吊橋は、歩行者専用吊橋としては、日本一だそうで、全長400メートル、高さ70・6メートル、歩道幅1・6メートル、主塔の高さ44メートル。高い所は絶対駄目というK子さん一人残して、快晴の秋空に吸い込まれるようにゆらゆらと歩き出しました。深く広がる森を眼下に、ここでもくつきりと雄大な富士山を見られて大満足。くみんは本当に普段の行いがどれだけいいの〜とニンマリ。

〔屋形船と夜景〕

横浜でバスから7名下車。浅草のホテルに待機していたこれから参加の5名を加えて、総勢33名で屋形船に向かいました。おのぼりさんシニア軍団をいまや遅しと待ち構えていた案内人が何とわれら函中の同窓生、72期のM君でした。びっくり。仕事の関係で偶然の出会いとなったようでした。

さあ、仕切りなおして同期会第二部の始まりです。おなじみの天ぷらを前に改めて乾杯！19年ぶりのYさん、ようやく仕事から少し解放されて料理を楽しみたいとSさん、つい名前で呼んでしまう15年ぶりのR子ちゃん、いつものY

子ちゃん。話しているうちにみんな昔の面影がちつとも変わってないことに驚きました。

男子は男子でリタイア後の生活、趣味、昔の仲間と再会飲み会など、結構アクティブに充実した日々を過ごしている様子。話に花が咲きつばなし、「誰か夜景を見てる〜？」の声にふと外を見ると東京のビル群いっぱい灯り、レインボーブリッジの煌きなど、水面いっぱいに広がって豪華な夜景でした。やがて屋形船遊覧も終わり、「来年は函館でまた会おうね」と声を掛け合って解散となりました。

第67期志丸会 山崎 徹

本年1月28日、札幌、函館からの3人を含めた22名が出席し、新宿の郷土料理店（居酒屋）で恒例の東京志丸会新年会を開催。元気に迎えた新年を祝いつつ近況報告や思い出話を楽しんだ。

この席上、白楊ヶ丘同窓会東京支部長を9年間に亘り務め、昨年退任した同期の安田前支部長を皆でねぎらったが、同君からは会員数、会費収入、同窓会参加者の減少など同窓会支部の抱える諸問題についても触れられ、皆の知恵と活性化への助力を求められた。お昼から始まる新年会が一次会で終わるわけはなく、市場移転など昨年来何かと課題山積の東京都庁展望階からの都内俯瞰にはじまり、居酒屋、カラオケなど三次・四次会まで堪能する強者もいた。

これは恒例の春秋花見会のおりもほぼ同様で、共に呑み、語り、そして次の会にも元気に集まろうと散会できる幸せが明日への活力源になっている。



●発掘されて眠りから覚め

と、ここまで書くと、あたかも同窓会・同期会に長く関わっていたかのように誠に気恥ずかしいのだが、実は私が同期会の存在を知ったのは卒業後半世紀を経た僅か2年前、同窓会への入会は昨年である。先ほどの安田前東京支部長の言葉が胸に突き刺さる次第。一昨年、差出人欄に「函中 志丸会 札幌幹事」と書かれた郵便物が届き、開封すると札幌での全国同期会開催の案内。これによって私は「志丸会」を知り、初めて同期会（古稀志丸会）に参加することが出来たのである。

思えた）顔があった。「生きていたのか」「娑婆にいたのか」など囃されたが温かく自然に迎えてくれ、共に車で通学した旧友をはじめ、懐かしい方々との再会を果たすことが出来た。

卒業以来所在を同窓会等に知らせていなかった私に連絡が来る訳はなかったが、数年前に会った北斗市に住む中高同期の友人が私の住所を学校に届けてくれ、それを札幌幹事が発掘して眠りから覚ましてくれたと後日判った。

札幌での同期会の後、東京支部幹事の松田君から還暦同期会や各地同期生を訪ねる旅など過去の様々な活動記録を頂き、同期仲間の強い繋がりをあらためて知った。私は遅きに失したが、発掘に感謝しながら可能な限り同期の集いに参加して、セピア色だった懐かしい時を引き戻そうとしている。

ところで、同期の多くの皆さんは小中学校、時には幼稚園から共に過ごしていた方々同士が多く、情報共有のチャンスが多いなど感じている。親が転勤族など高校時代だけの接点でも連絡を密に保ってきた方も大勢居られるが、昔を懐かしむ年齢に至って振り返った時、その頃の友人と繋ぐ糸口を見付けられない方も居られることだろう。同期に関わらず、周りにそのような方を見受けたら声を掛けて掘り起こす。その小さな積み重ねで仲間の輪を拡げることが同窓会の活性化にも繋がると思っている。

秋の同窓会東京支部親睦大会には、同期は勿論、より多くの先輩

第71期東京地区同期会

七草会

第79期 1977年卒業

HPにて情報発信中  
http://chubu79.html.xdomain.jp/

火ばしら会

東京支部



昭和42年卒業

69期

後輩も互いに誘い合って参加し、活性化へ向け世代を超えて交流しませんか。

●山崎英二君が受章

志丸会の会長である函館市在住の山崎英二君が、本年春の叙勲で永年の弁護士功勞により旭日小綬章を受章されました。同期一同、心からお祝いし敬意を表するものです。

第71期

加納 元雄

「逆・修学旅行」

昨年10月、第71期東京地区の同期会は、「入学50周年記念 逆・修学旅行」と称して、初めて函館で同期会を開催した。趣旨は、開業間もない新幹線で函館に乗り込み、同期会のイベントを行って東京に戻るというもののだが、全国の同期生が参加できるような、いくつか用意したイベントは全て「出入り自由」として、函館の本部同窓会幹事をしている灰谷良一君が管理している同期生の名簿で、所在の分かる約350人に案内を出した。

イベントの最初は、10月16日9時36分東京発の「はやぶさ11号」で函館に向かうこと。何しろ「修学旅行」だから団体切符で行かねばならぬ、と意気込んだのだが、集まったのは団体成立にぎりぎりセーフの8人。盛岡から乗り込んだ佐々木康夫君を加え、一路新函

館北斗へ。

函館での最初のイベントは、母校の見学と「記念授業」。函中が現在の校舎になって20年以上経つが、私たちが通学していたのはその30年前。首都圏在住の函館先乗り組、札幌を始め首都圏以外からの参加者、それに地元在住者を加えて44名になった一行は、中島淳夫教頭先生のご案内で校内をくまなく見学。昔はなかった階段教室など最新の設備に改めて時の移ろいを実感した。

その後は記念授業。講師は、今回最初から最後まで全てのイベントにお付き合ひ下さった水江彰一先生(第60期)。50年前を彷彿とさせる英語の授業を行い、一同は



前列左から4人目がご案内下さった現役の中島淳夫教頭先生。その右隣が50年前現役の水江彰一先生。それ以外は全員50年前現役の高校1年生

熱心に受講していた。50年前もこのようにまじめに受けていれば少しは人生が変わっていたかも知れない、と思つたのは、筆者だけだつたらうか。実は記念授業のアイデアは水江先生ご自身から戴いたもので、第60期の同期会が恩師をお招きして記念授業をされたとお話を伺い、是非71期もやりたい、

授業終了後、会場を小坂雅敏君経営の末広町にあるホテル「ヴィラコンコルディアリゾート&スパ」に移して、パーティ。受付辺りに体もどかい態度もどかい男性がいたのだが、それが誰かどうして

パーティの参加者は総勢52名。これだけ集まるのは初めてで、しかも出席者の半数以上は会場のホテルに宿泊なので、楽しい語らいは延々と続いた。

その翌日、一行はゴルフ組と観光組に別れて行動。ゴルフ組は、この日に初登場の大折伸明君他の

引率で大沼レイクGCへ。2組8人の熱戦の末、これまたこの日に初登場の山形眞一君が優勝。皆、

その日の夕食は個人行動をしていた人たちも含めてベイサイドのビアホールに13人が集合しお別れパーティ。更に何人かの有志は、末広町のバーで名残を惜しんだようである。その夜、小坂君のホテルに連泊した人は7人。明日の帰路のために、最後の鋭気を養う。10月18日、「逆・修学旅行」も最終日である。午前中は買い物や市内散策。昨日まで「濃い付き合い」をした連中と、次々と出会う。

そして、昼過ぎに名残惜しい函館を出発。再び新幹線の人となつて夕方6時過ぎには東京に戻つた。ここまですべてん付き合つた人は水江先生を含め4人。かく言う筆者も、幹事でありながら途中離脱したのだが、客室の丁度一ボックスを占領できたメンバーは、引き続き「濃い会話」を楽しめたよう

である。と言う訳で、今回の参加者は総勢65名。本当にお疲れ様でした。

さて、この先どうするか。今年例年のイベントに戻して、6月に都内のホテルで実施したが、来年、そして節目の卒業50周年となる再来年はどんな大会にするか。まずはその時を、皆で元気に迎えたいものである。

第72期さつき会 渡部 敏雄

司会者の第一声は「巨泉の、さつき賞クイズダービー！」

五月の第三土曜日、定例会場のアルカディア市ヶ谷に集結した七二期生四三名の、今年のお楽しみ企画は、四チーム対抗クイズバトル。賞品は、同期生のプロ写真家・丹羽修君の手になる函館の風景写真パネル(20数点。勝ったチームが、優先的に好みの写真をゲットできるという趣向)。

還暦をとづくに過ぎた面々が、イカ、カニ、ウニ、エビという幼稚園的チーム名を掲げて真剣に見つめる先には、往年の人気テレビ番組を模したクイズダービーの出演者たち。

司会は大橋ならぬ小橋巨泉で、回答者の面々は、「はらまったいら(はらたいら)」「竹下おけいこ(竹下景子)」「黒鉄ヒロシ(黒鉄ヒロシ)」と、よくもまあ、こんなパロディを思いつくものです。演ずるは、毎年出て来る、わが「さつき会」の名優トリオ、笹

川浩史、佐野香苗、小林繁治。

石川啄木の歌の文字ハメや、俳句の季語「ユーミン」の季節当てという出題に、回答者の誰が正解を語っているかを各チームが当てるといふもの。最後は「綴法華の地名の由来。アイヌ語説以外に実際にあるのは、どの説？」という出題に、三名の回答者が熟演の珍回答。「海岸に並ぶトド松がお坊さんの姿に見えることからですよ」「何を云ってるんですか、有名なトドホツケの漁場だからですよ」「皆ものを知らないねえ、昔この地から偉い坊さんが唐に渡って法華経を広めたというので、唐綴法華、トドホツケ」。どれが本当なのか、余りの名演に、司会役の私までが混乱して正解を忘れそう。

クイズは、さらに代表戦お絵描きクイズから、早押しならぬ早挙げてクイズへと進み、「函館の町名で色の名前が入っている町名を2つ挙げなさい」「クレージーキャッツのメンバー全員の名前を言え」などの難問に、各チームとも必死の形相。結果は、カニとイカが一、二位を占め、函館らしい決着となりました。

続いて争奪戦第二弾は、谷口雅典君提供の美術館招待券の抽選会に進み、第一弾で写真を貰い損ねた者は、写真の仇を絵画展で取り返したと大喜び。

今年は、去年忘れた集合写真もすっかり撮ったし、用意された料理も見事に完食。参加者は、口々に「今年の料理は旨かったな」と。うん、それはアルカディア市

ヶ谷の経営努力の成果かもしれないけど、実はクイズと抽選で腹を空かせたせいだったりして。そして、今年も七二期伝統の「はんかくさい」企画で大盛り上がるの会場で、一番笑っていたのは会場の係員だったのを、私はしっかりと見ていました。



第78期

垣坂 清

還暦同期会@函館

七月十五日の夕方、函館市本町の海鮮居酒屋「魚まさ」に函中78期のおじさん、おばさんが26名集まりました。

名目は「還暦の集い」でしょうか。出席者の6割が道外者で、み

なさん「はるばる来たぜ」感があるのだろうと思いましたが、結構函館に帰省しているようでした。私は親の具合があまり良くないのでこの一年に5回帰省しました。が、みんなそのような親のいる年代ですから同じように函館への帰省が増えてもおかしくはないですね。

さて、同期会は酔ってグズグズになる前にまず記念写真をとっておき、一人ずつの自己紹介からスタート。卒業時のクラス、部活動と函中時代の思い出やエピソードなどをとりあげ、近況についての説明というパターン。卒業以来41年ぶりに顔を合わせた人もいましたので、昔懐かしいエピソードに触れ、記憶が蘇ったのか、「あつ、あつたあつた。」「そんなことがあつたの?」と声があがり、「実はあの時は、…」と解説や裏話が増えられたりで大盛り上がりでした。

因みに、私の紹介エピソードはお約束の「修学旅行寝台列車乗り遅れ事件」でした。

自己紹介後は、フリートークイン。それぞれ話したかった人との昔話と近況報告、そして当日出席していなかった昔の仲間は今どうしているか等。個人が断片的にしか知らないことでも、みんなが情報を持ち寄れば、気になる人の近況を知ることができる。なんと素晴らしいことでしょう。(今は、携帯端末とネットワーク技術が格段に進歩しているので、函館に向くことなく情報を得ることが容易い世の中になっ

ていっていることでは)。そして、会場を函館市役所に勤務する人たちの溜り場的なスナックに移しての三次会にも多くの参加者があり、78期が幹事期となった2008年の第32回東京支部親睦大会の映像をみんなで見て語り



第79期 七草会

高島 宏

合い、最後には校歌を歌いました。函館駅周辺のホテルをとっていた一部の輩は四次会まで行ったそう。な。「次は、5年後にね」と誰かが言っていました。5年後の再会を誓いつつ、翌日も日吉町の同期生の店と同じようなメンバーが集まり飲んでしまいました。函館はいいなあ。

新幹線で行く函館ツアー①二〇一六

2016年10月8日朝の東京駅、三連休初日は人々、そこにいたのは車内宴会用酒つまみ買い出し部隊の高橋(政章)くんと高島。「ビールでしょう、ワインでしょう、サラミにチーズでしょう」と次から次にカゴの中へ、いやーこれ幸せ感じるんだよね。

東京発9時36分はやぶさ11号、富田くん、小泉(宏)くん、高橋(政章)くん、樋口くん、遠く九州から秋谷さん、宮林さん、西村さん、高島、そして今回の特別ゲスト78期「加賀廣」店主、焼鳥はタレですよの梅本先輩を乗せて「新幹線で行く函館ツアー①二〇一六」函館に向け、いよいよ始まり始まり。

79期と言えば酒ですが「車内ではお静かに願います。」の前回平泉ツアーでの車内放送に反省、ちよつちよつ静か目にはまずはおビールでカンパイヤ！その後間も無く小林

さん、近藤さんが、いなり寿司を持って大宮から乗車、仙台からは訳あって小樽の保科くんが蒲鉾を持って乗車、新幹線内で過去2回赤ワインを零した教訓を生かし細心の注意を払いながらビールに赤ワインを加え、保科くんの車内に響くかん高い笑い声と共に宴会は盛り上がりです。ところが、なんと今回は警戒が手薄だった西村さんの缶ビールが転倒！溢れたビールは通路を渡って反対側の座席へ！他のお客さんの足元に置いてあった土産物の紙袋を直撃！全員で平謝りでした！

時は今から40年前修学旅行の帰路は、  
 ・特急ゆうづる上野発19時53分  
 ↓青森着翌05時08分  
 ・青函連絡船青森発05時25分  
 ↓函館着09時15分  
 でした。

ところが今回は、なんと所要時間4時間2分、青函トンネルを抜け「あつ函館山だー！」の歓喜の声と共に新函館北斗13時38分とうちやこーでした。ハヤ！

仙台からの松田さんがここで合流、一行は小雨の降る中ちよつと寂しいまだ真新しい新函館北斗駅前口タワーから送迎バスに乗り込み、昆布館を横目に大沼だんごに後ろ髪を引かれながらも、無料の高速道路函館新道を通り一路宴会場で宿泊先の「イマジンホテル&リゾート函館」へ、途中産業道路の懐かしい街並みを眺めながらの会話に、ほんわかほんわかです。

30分程で熱帯植物園の隣にある

ホテルに到着、おーオーシャンビユー！今回お世話になるホテルの木村さん、早速館内案内を始める。と保科くんの「わー函館弁だ！」の歓喜の一声で説明一時中断するも宿泊組男子8名女子7名は予定どおりチェックインしました。

そこへ前日函館入りしていた片山くんが満面の笑みで登場、大沼だんごが入手出来ていない事を知ると、何とかするべく森から函館へ車で向かっている岩島くんに電話、しかし時すでに遅しで大中山通過、大沼だんごー

宴会場はホテル3階にある「アクアマリン」、幹事は入念なりハールを終え名札も準備、同期を待ちます。そしてそこに懐かしい顔が順次到着するんですよ。いやーこれ幸せを感じるんだよねー。定刻17時30分片山くん司会のもと総勢34名、雨の日も雪の日も「加賀廣」でただただ酒を飲み準備を重ねた大宴会がスタートしました。まずは小林さんの開会の挨拶、還暦が近い79期、いづつどうなつても良いように種々パスワードは分かるようにしておいた方がいいと言う実に考えさせられる内容でした。

続いていつもお世話になってい、特別ゲスト78期「加賀廣」店主、焼鳥はタレですよの梅本先輩のご紹介と挨拶、そしていよいよ乾杯です。当時ヒットしていた中条きよしに似ていると言われていた中条こと對馬くん発声のもと、前回の函館ツアーから4年、同期の思いが再び函館に集いカンパイ！

しばし歓談の後は恒例クラス毎の自己紹介です。3年1組から8組まで変わった人変わらぬ人変わりようがない人、同期会ついでいなー片山くんが今回特別に用意したのが当時の色あせた実力テスト100番以内順位表でした。当時縁があった人もなかつた人も、今日の同期会ではみんな医学部合格間違い無しの34番以内です！



ホテル側で用意して頂いたユーミンの「卒業写真」が流れる懐かしいスライドショーもあり幸せさせー2時間半はあつと言う間に過ぎました。最後に高島が同期会への思いを伝え、樋口くん発声による一本締めで大宴会は20時00分閉会、札幌ツアーではつい忘れてしまった集合写真も今回は忘れずに撮りました。

秋谷さんからは、福岡のお土産を頂きました。ありがとうございました。歌自慢を多数擁する79期は、当然お決まりのコース、早速タクシーに分乗、場所を五稜郭シダックスへ移し二次会、ここでも司会は片山くん、タンバリーナー！二次会から参加の富永さんに加え25名でのカラオケバトルの始まりです。木浪くんのマイクテストでスタート！山之内さん中村さん二人でキャンディーズ「春一番」か・わ・い・い！佐藤くん北島三郎「函館の女」しぶー！増田さん中山島みゆき「ホームにて」いんでないかい。横山くん秋葉さん二人で「銀座の恋の物語」。樋口くん吉田拓郎「人生を語らず」歌うと言うより叫び？高島はなんちゃってゴルフ部テーマ曲東京プリン「ゴルフ道」でファーー。岩島くん、阿相くん、小坂さん、宮林さん：いやいやや止まりません。実は、その盛り上がりネタばらし、司会片山くんの同期全員にマイクを渡す気配りでしたー素晴らしい人間力！そしてエンディング、歌姫小林さん締めの一曲スターダストレビユー「木蓮の涙」富田くんと高島が大泣きしたところで、歌い続けること1時間延長の3時間が経過、最後は、奈良くんの2年後に「還暦記念函館ツアー二〇一八」やるぞーの一大発表と乾杯で二次会は23時20分閉会しました。幸せ幸せ！

三次会は、有志7名で定番蕎麦屋へ！富田くんはここでもビールですが、やつば玉子焼きで焼酎の蕎麦湯割りでしょー、総合司会の片山くんは途中熟考状態に、お疲れー、そして締めはもり蕎麦ー、こうして函館五稜郭の夜は更けて行くのであります。幸せせー翌朝、目が醒めると窓から熱帯植物園のサル山が良く見えるホテル4階の部屋では、もうすでに富田くんと佐藤くんがサルのようにビールのロング缶2本目を開けていました。



みんなでの別れを惜しむ朝食後、富田くんは実家へ、小泉（宏）くんは空港へ、佐藤くんは札幌行きバス乗り場へ、そして部屋の前廊下で宿泊組が順次お別れの挨拶、岩島くんはお別れのワインを高島は新幹線で残ったお別れのみを女子に渡し再会を誓いました。多分肩汗をかいているであろう遠ざかる樋口くんの背中がちょっとだけ寂しそうです。



函館から 世界の中心へ向かう 達人たち

新企画！ 各方面でユニークな活動をされている卒業生をご紹介します。  
ご紹介・ご推薦・立候補、随時募集中！



タイトル文字：第73期 山田 朗

「数学塾」を始めて十二年目となりました。東京で五年、函館へ移転して七年目。過ぎればあつという間です。開塾当初は食べていけないのかどうか不安でしたが、友人や知人、同窓会で出会った先輩方からのアドバイス、激励などを頂き現在に至っています。改めて感謝申し上げます。十二年前、ピアノ教室や空手教室のように誰でも来れて、数学を楽しめる塾を作りたいと思い、始めました。今となっては、小学生から高校生、社会人に至るまで様々な方が来られています。函中生も近年は多くなり、高校一、二年生は普段の予習の復習に、三年生は受験に向けて学校の授業のほか、センター試験の過去問などを解いています。私が通っていたころに比べると、宿題の量が増えて、夏期講習が必須になり、授業の中抜けができなくなり(笑)、現代の生徒は大変だなーと思ってしまう。それでも皆、部活に遊びに、白楊祭にと楽しんでおり、函中生は充実した日々を過ごしているようです。

さて、塾のほうですが、社会人向けには、金融工学、電験三種、統計学などを中心にスカイプを使って授業を行っております。こちらは全国各地から問い合わせをいただき、資格取得、仕事の一環として習いに来ています。以前は法科大学院適性試験対策などもありましたが、時代の流れにより少なくなりました。弁護士養成の施策はまだ課題が多いようです。金融工学については文系だった人が仕事の都合上、証券アナリスト試験、ファイナンスの大学院で学ばれるときに当塾で補講として行っています。「高校で数学をもっと勉強していれば」と言われる方が多いのが気になります。数学を勉強したくなったら「数学塾へ」。これが塾のモットーです。

現在の塾以外の活動としては、主に「北海道創才教育推進会」に入り、年に一度外部講師を招き算数セミナー開催のお手伝い、ラサール高校での「算数オリンピック」にチャレンジ教室の講師を行っております。算数オリンピックという難しい問題



松川 文弥 第97期

プロフィール まつかわ ふみや

1976年北海道鹿部町生まれ、1995年函館中部高校卒業、2000年東京理科大学理工学部機械工学科卒業。卒業後、(株)図研SoC事業部にて半導体回路、英国法人CHAM社にて流体解析ソフトの販売、サポートを行い、2006年東京都足立区に「数学塾」を開業。  
数学塾 (<http://www.thinkingout.jp/>)

2008年に日本橋教室を開設し、2011年函館に塾を移して現在に至る。数学塾では数学・物理・化学に加えて、電験三種、金融工学、統計学、公務員試験対策など計算・分析分野を中心とした講座を開講。算数オリンピック対策講座なども行っている。

第三種電気主任技術者、統計士、統計検定2級、数学検定準1級、計算力学技術者2級(熱流体分野)。

主な著作「電験三種計算問題ドリル」

にチャレンジする小学生が函館にもたくさんおります。意欲のある子どもたちの少しでも助けになるよう当会で活動しております。

今後は地域ボランティアにも参加して市民の方々の声、希望、現状などを行政に反映させることができたいと思います。函館市の学力を上げるため、函館市の子供が将来活躍するため、そして函館に戻ってきてもらうため、今できることを模索しながら「数学塾」共々進んでいきたいと思っております。



大学院生の研究発表講評会 2016



「アイチトリエンナーレ2016  
名古屋芸術大学舞台芸術公演」



## 竹本 義明 第69期

### プロフィール たけもと・よしあき

1949年両館市生まれ。1967年両館中部高等学校卒業。1972年武蔵野音楽大学卒業後、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。1989年から名古屋芸術大学に勤務し、1994年海外派遣研究員として英国王立音楽大学で1年間古楽器を M・レアー教授に学ぶ。2010年から名古屋芸術大学学長として、教育、研究とともに大学の第三の使命である社会貢献を推進している。2007年から武豊町民会館館長を務めている。

### ボーダーレス化社会で活躍する人材の育成を

私は2010年から名古屋芸術大学学長を務め3期目になります。1967年に大学に進学した当時、大学進学率は16%で大学数は380校でしたが、現在は大学進学率が52%になり大学数が777校となっています。

よく大学運営の厳しい時代に学長になったと言われることがあります。それは、入学定員800人未満の地方の私立大学の多くが定員割れを起こしているからです。1970年代にアメリカで医療（高齢化など）、芸術（財政補助）、そして教育（少子化・大学進学率）においてシステムの制度疲労に起因すると考えられる問題が起きました。

30年遅れて日本でも同様なことが起き、大学は今までのシステムを再構築し将来を見据えた教育の質的向上を図ることが求められています。

昨年、学校教育法施行規則の一部が改正され、大学が三つの指針を策定し公表するよう義務付けられました。「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」及び「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」です。

それに伴い大学を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。2019年4月から新たな高等教育制度が創設され専門職大学の設置が可能になります。2020年には大学入試共通テストが導入されます。

現在、社会、政治経済などの分野において領域の境目がない「ボーダーレス化」が進んでいます。本学は芸術系3学部を擁する日本唯一の総合芸術大学として運営されてきましたが、社会では美術やデザインを専攻していても音楽的素養を求められる場合が多くなっています。

その逆もあり、学部・学科の縦割りが教育を阻害していると考えられます。そのため、教育の枠組みを新たに設定することでディプロマポリシーを具現化しようと考えました。実際は、芸術分野において演奏家や作家の活躍を支える人材不足解消のため、芸術運営（アートマネジメント）による人材育成に取り組んでいます。

教育分野では、専門性を維持し新たな創造が可能な学びを実現しています。また、芸術教養領域（リベラルアーツコース）を設置し、ビジュアル、サウンド、英語、日本語、情報の5つのリテラシーを修得することで、企業などの現場で活躍できる人材を育成しています。

本学は、東海地域のいくつかの高等学校と高大連携事業を行なっています。私は両館中部高校と高大連携を締結し、名古屋芸術大学としての特色を生かして「総合的な学習の時間」の活動を充実させ、中部高校の発展に貢献できることを願っています。

# 随想

『ウィーン演奏旅行に参加して』

第73期 小野田和子

昨年11月にウィーンに演奏旅行に行きました。といっても『ウィーン楽友協会でのコンサート』というツアー企画に応募してのアマチュアオーケストラでの演奏会です。ヴァイオリンを持って楽器に保険をかけてウィーンに行き、本番を終えたという初めての、夢のような体験でした。しかも毎年テレビで見るとニューイヤークンサートの会場である楽友協会ホールで演奏できたことはこの上ない喜びでした。ここは絢爛豪華な内装と響きの素晴らしいから黄金のホールと呼ばれています。



単独参加でしたのでどんな一週間が流れるのかと、集合するまで緊張しましたが、音楽の仲間はずぐに打ち解け、中継地のフランクフルトのラウンジでは親睦会として早速ドイツビールで乾杯が始まり、ドキドキはワクワクに変わる旅の始まりでした。深夜に現地入りして翌日から4日間練習をして本番という日程でしたが、練習の前後に皆で周った音楽の聖地は以前に見た時の印象とは違い、何もかもが心に沁みました。それは感動を共有する仲間と過ごし、しかも指揮者自らが案内して下さった名所巡りが楽しかったせいもあります。今回の演目であるベートーベンの『皇帝』とマーラーの『巨人』は大好きな曲で、偉大な音楽家が踏んだ大地、吸った空気、と感じるだけで胸が詰まる思いでした。前日には二人の作曲家のお墓の前で、素晴らしい音楽への感謝と演奏会の成功を願ひ、献花と祈りの手を合わせたこともこの旅ならではの思い出です。



モーツァルト像の前



迎えた本番、ステージの段差のある木張りの重厚な床を慎重に足を運び、前日にウィーンフィルの団員が座った椅子に腰を下ろし客席を見ると、立ち見がある超満員でした。本場地元の聴衆の笑顔に守られながら、残響（客席後ろにまで3秒以上音が広がった）が音を美しくまとめられる心地良さ、近藤嘉宏さんの甘美なピアノの音色にうっとり引込まれ自分の弓が止まってしまった、など至福の時



ライトアップも美しい



ホール正面玄関前で本番前

をかみしめました。高まる思いが交錯しながらもあつという間に演奏は終わり、音が止んだ時のブラボーと拍手に感極まりました。この場所での仲間、素晴らしい音楽ができたという宝を得ました。遙々出かける音楽好き同士は指揮者と共に同じ方向に向かって頑張ることができ、音楽の力を改めて実感しました。打ち上げのビールとワインの美味しかったこと、ベートーベンの散歩した田園の小道が優しかったこと、シュトラウスの像の前で誰かが同じポーズで笛を吹いて笑ったこと、夜のモーツァルトの墓前ではレクイエムが聞こえた？こと



← zurück zu Programm

Japan Festival Orchestra  
Montag, 14. November 2016 19:30

INTERPRETEN  
Japan Festival Orchestra  
Yūichi Takubo, Dirigent  
Yoshihiro Kondo, Klavier

PROGRAMM:  
Österreich-Japanisches Freundschaftskonzert  
Ludwig van Beethoven  
Konzert für Klavier und Orchester Nr. 5 Es-Dur, op. 73

Pause

Gustav Mahler  
Symphonie Nr. 1 D-Dur

Konzertprogramm drucken  
Konzert weiterempfehlen  
An den Vorverkaufsbeginn des Interpreten oder des Werkes erinnern  
Dieses Konzert auf Facebook teilen

MUSIK



音楽以外でも、美しい宮殿を巡り息をのんだこと、など沢山の新たな感動を味わいました。そして何より、皆で作る音楽の贅沢な充足感を覚えた旅行でした。  
：私も『オケ老人』?!



『30年ぶりの出会いから生まれた『81期 セカンドアルバム』』  
第81期 松永久

昨年の東京白楊だよりに、「水泳の萩野公介君の父親は81期生です。リオオリンピックではいくつかの競技に出るので応援よろしくお願ひします!」とお知らせしたのが、ついこの間のように思えます。結果は、ご存知の通り、400m個人メドレーで金メダルを、またその他競技でもメダルを獲得することができました。本当に、応援ありがとうございました。そして、3年後の東京オリンピックでの、公介君のさらなる飛躍を願ってやみません。

さて、本日このコーナーの皆様にご紹介するのは、81期メンバーの「セカンドアルバム」です。このアルバム、高校卒業時に制作したのを「ファーストアルバム」と

称し、その後の同期の軌跡、もう会うことができない同期や恩師との思い出、などの新たに記憶にとどめたい想いを綴ろう、という目的で制作したものです。構想から丸4年、この間箱根や都内で幾度もの打合せを経て、ようやく完成の時を迎えようとしています。運よく同期の中に、出版社を営んでいる者があり、われわれの無茶なお願いを次々と叶えてくれたことや、思いがけず多くの写真や投稿が寄せられたこともあって、当初描いていた構想以上に充実した内容になりました。まだ、校正段階ですが、表紙はこんな感じです。

2011年に東京支部の親睦大会の幹事を務めてから6年。その時の再会が、こうした形で花を開くことをうれしく思うとともに、この先も長きにわたり楽しいお付き合いを続けていくことができるよう、切に願うこの頃です。



物故者 謹んでご冥福をお祈りいたします ※年会費払込票及び大会出欠葉書等にてお知らせがあった方です。

- ◆今井 清 (昭13年卒40期) 平成28年7月11日逝去
- ◆宮本 寿一 (昭15年卒42期) 平成28年6月5日逝去
- ◆續 豊 (昭16年卒43期) 平成28年9月逝去
- ◆畑中 達敏 (昭18年卒45期) 平成27年1月1日逝去
- ◆岩沢 彌之助 (昭19年卒46期) 平成28年4月24日逝去
- ◆賀山 正一 (昭19年卒46期) 平成28年5月15日逝去
- ◆北川 晴男 (昭19年卒46期) 平成27年逝去
- ◆桐田 卓治 (昭19年卒46期) 平成28年6月8日逝去
- ◆間山 郁三 (昭20年卒48期) 平成28年8月2日逝去
- ◆三國 文夫 (昭20年卒48期) 平成26年3月3日逝去
- ◆野沢 洋 (昭21年卒49期) 平成26年2月26日逝去
- ◆生駒 祐孝 (昭21年卒49期) 平成28年10月24日逝去
- ◆田熊 新平 (昭25年卒52期) 平成28年11月12日逝去
- ◆内藤 一彦 (昭25年卒52期) 平成28年11月1日逝去
- ◆二上 達也 (昭25年卒52期) 平成28年6月25日逝去
- ◆漆崎 雄一 (昭26年卒53期) 平成28年8月15日逝去
- ◆喜多 威夫 (昭26年卒53期) 平成28年5月30日逝去
- ◆川上 直衛 (昭27年卒54期) 平成28年3月5日逝去
- ◆四十物 雄幸 (昭27年入54期) 平成28年7月8日逝去
- ◆横井 静子 (昭28年卒55期) 平成29年5月10日逝去
- ◆加藤 正秋 (昭29年卒56期) 平成29年5月10日逝去
- ◆大田 順三 (昭30年卒57期)
- ◆佐藤 幸雄 (昭30年卒57期)
- ◆中西 繁道 (昭30年卒57期)
- ◆松澤 佑介 (昭30年卒57期)
- ◆見尾田 瑞穂 (昭30年卒57期)
- ◆吉岡(佐藤)玲子 (昭30年卒57期)
- ◆田林 誠一 (昭31年卒58期) 平成27年10月18日逝去
- ◆小木 雄二 (昭33年卒60期)
- ◆北原 耕太郎 (昭33年卒60期)
- ◆沼達 賢一 (昭33年卒60期)
- ◆ハンメラ(村井)肇子 (昭33年卒60期)
- ◆松田 章 (昭33年卒60期)
- ◆畑中 万弘 (昭34年卒61期) 平成29年2月23日逝去
- ◆保坂(佐藤)紘子 (昭34年卒61期) 平成28年9月13日逝去
- ◆田村 實 (昭37年卒64期) 平成28年5月15日逝去
- ◆原 公英 (昭37年卒64期) 平成28年5月26日逝去
- ◆渡部 俊一 (昭37年卒64期) 平成28年5月25日逝去
- ◆宇野(定梶)志保子 (昭40年卒67期) 平成27年5月29日逝去
- ◆根本(能戸)京子 (昭40年卒67期) 平成29年1月29日逝去
- ◆花海 吉夫 (昭40年卒67期) 平成28年7月21日逝去
- ◆中島 幸夫 (昭42年卒69期) 平成23年12月7日逝去
- ◆戸栗 敏博 (昭49年卒76期) 平成28年7月21日逝去

76期東京地区同期会 (昭和49年卒業)

定例の「あす76会」ゴルフコンペ；同期の皆様のご参加歓迎します。  
函館・札幌及び海外などから同期メンバー来訪の際に、同期の集まりを開催します。「集まれるときに何度でも！」  
LINE、Facebookで同期メンバーのつながりを広げていこう！

風土、風景、風格 を創る



MIKUNI NEW OFFICE

株式会社 計画機構 一級建築士事務所  
■建築設計・コンサルティング

alpha Conservatories Ltd.  
■ガーデンコンサルティング ■英国コンサバトリー設計、施工

株式会社 アルファコンサバトリーズ  
創業1874年 AMDEGAコンサバトリー輸入総代理店、  
B.D.G.コンサバトリー輸入代理店、建築設計・ガーデン設計

代表取締役 山田 朗 (73期)

180-0022 東京都武蔵野市境1-22-9 ツインプレックスSA  
TEL.(0422)55-7940(代表) FAX.(0422)55-7960  
http://alpha-it.co.jp/ E-mail:info@alpha-it.co.jp

# 追悼

## 二上達也

第52期

第6代東京支部長  
平成4年9月～平成13年9月(9年間)

平成28年11月1日逝去

梅田やよい(第69期)



師匠(二上達也)のところに入門のお願いに伺ったのはもう35年前になる。とても物静かで訥々と語る姿がとても印象に残っている。先生は何事にも美学があり、それが立ち居振る舞いに威厳を醸し出していた。50代でまだまだ続けられるのに引退されたのもその一環でその後将棋連盟会長として将棋界を牽引された。プライベートではカラオケ好きで一門が集まった時に聞いた山口百恵のいい日旅立ちが大切な思い出だ。

羽生善治 三冠(王位、王座、棋聖)  
(本誌のためにご寄稿頂きました)

私が同窓会のお手伝いを始めたのは、二上達也さんが東京支部長をされていた1992年のことでした。

その頃の東京支部は、二上さんの同期(52期)である福津達男さんが新宿御苑前に構えた会社に事務所を置かせてもらい、会議や会報発送作業をはじめ、電話や郵便物の対応に至るまでの全ての業務をしていました。

当時将棋連盟の会長をなさっておられた二上さんは、将棋会館でのお勤めを終えるとその事務所に立ち寄られて、先ずは福津さんと二人で「今日もご苦労さん」とビールで乾杯した後、福津さんの仕事が終わるのを待って、連れ立って新宿の街へと繰り出すのが常でした。

時々は、同じ52期の方々も一緒にされたり、私が会議の後の議事録作りや郵便物の整理などをするために、週2〜3度通っていたその時にお出でになった時には、必ずご一緒させていただいたものでした。

いよ「夜の新宿」へとゆつくり歩を進めまず：御苑前駅から真つ直ぐ靖国通り近くに行つた辺りのクラブに寄つてお酒を1〜2杯飲んでカラオケを2曲ほど歌つてから、花園神社の前を通つて、ようやくお馴染みの「ポトス」にたどり着いて、ホッとするのは2時間くらいも居座つてカラオケ三昧です。そうしてほろ酔い加減で歌もたくさん歌い終わる頃、タクシーで帰路につく二上さんを、ポトス前でお見送りしたものでした：

そんな楽しい新宿の夜は、十数名での会議の時も度々ありました。事務所でお弁当とビールで食事を済ませた後、ほぼ全員が二上さんの美声をカラオケで聴きたくて、必ずポトスでの二次会に行つたのです。

二上さんはいつも寡黙で、優しい笑顔で楽しそうに美味しそうにお酒を飲まれていましたが、歌う時はとても迫力ある声で熱唱なさいました。

ある時、歩く道々「私の時代は旧制中学で男子しか居なかつたので、未だにご婦人と話すのが苦手です」とおっしゃったことがありました。

52期の方々が函中を卒業された頃に産声を上げた私が、生まれて初めて「ご婦人」と言われて照れくさいというか、戸惑つたというか：しっかりと記憶に残る言葉でした。支部長としての二上さんは「若い方たちの思うようにやりなさい。そうしなければ若い方たちに来てもらえない同窓会になりません。責任が負いますから」とおっしゃつてくださり「支部長の一番の仕事は、次期支部長を決めること」とも言っておられました。

二上さんに最後にお会いしたのは、今から5〜6年以上も前のことになりました。

体調を崩されて、お嬢様がお住まいの茨城県で療養中の折に、まだご存命でいらした福津さんからお声掛けいただき、ポトスのパーティーさんをしてらした「Iさん」との三人でお見舞いに伺う機会を得ました。

お嬢様が駅から車で二上さんのところへお連れくださり、そして四人でカラオケに行つたのです。

ポトス時代に二上さんが歌われた歌を、Iさんが次々と入力していくと、二上さんは、あの迫力ある力強い声で熱唱してくださいました。

2時間が経つ頃にお嬢様が迎えに来られて、私たちも一緒に二上さんをお送りし、そしてお嬢様に車で送ってもらつたために三人が車に乗って戻らなかつた時に突然、それまでカラオケ以外は殆ど口を開かなかつた二上さんが、歌われた時のような大きな大きな声で「またね〜」「またね〜」と、玄関の外に出て、車が見えなくなるまで手を振りながら、何度も何度も叫んでおられるのです。私たちは車の座席から後ろを振り返つて手を振り続けながら、溢れる涙が止まりませんでした。

きつと今頃二上さんは、高い空の上から、福津さんとお二人で美味いお酒を楽しく酌み交わしながら、同窓会の「今」を見守つてくださっていることでしょう。

本当に私は、二上支部長の時代に、素晴らしい先輩の方々と一緒に過ごさせていただいたことが、幸せなことだつたと思つています。そして、その思いをまた後輩に伝えて繋いで行くことが、二上さんをはじめ、諸先輩から受けたご恩に応えること：と、心から感じていきます。それは、余りにも大き過ぎて、私

にできることはその千分の一もなにかもしれませんが：

あの温かくて大きな存在が、懐かしくこみ上げてきます。未熟な私たち後輩を優しく導いてくださった二上さんや福津さんをはじめ数多くの、鬼籍に入られた先輩の皆さまに、心から御礼を申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。



函館市民栄誉賞受賞をお祝いする会、2001年(69期生と共に)

# 会員短信

平成28年8月以降の会費の払込票と  
返信はがきのメッセージから



●毛利啓次 (S 14年卒41期)  
同期生が居なくなり寂しい限りです。  
●神山茂郎 (S 16年卒43期)  
色々とお苦勞様です。僅少ですが御送りします。

●松川 襄二 (S 19年卒46期)  
90歳を過ぎましたが無理せずにつくりと暮らしております。

●渡辺 保二 (S 19年卒46期)  
90才を超え体調は万全でないですが、何とか元気です。同期の仲間が少なくなり寂しい限りです。

●堀田 善和 (S 20年卒47期)  
会報楽しく読ませて頂いています。  
●下河原 修 (S 21・22年卒49・50期)  
ご案内有難うございます。ご盛会を祈っております。

●阿部千田(彰)子 (S 26年卒53期)  
おかげさまで今も元気に暮らして居ります。

●佐藤 堅一 (S 27年卒54期)  
盛会を祈念しております。  
●児玉 道子 (S 27年卒54期)  
いつもご連絡下さり、ありがとうございます。猛暑もやっとおさまったようですが、台風の連続アタクでなかなか落ち着きません。元気なうちに1度出席したいと思っておりますが、今回は失礼します。ご盛会を祈っています。

●杉田 博子 (S 27年卒51期)  
2年前より介護付老人ホームに入居してました。出歩くことができませんが元気になって暮らしています。  
●種田 忠夫 (S 27年卒54期)  
「東京白楊だより」有難うございました。楽しく読ませて頂きました。

●納代 鉄也 (S 21年入54期)  
幹事の皆様御苦勞様です。函中時代の4年間の懐かしい方々にお会い出来るのを楽しみにしています。  
●宮崎 照子 (S 27年卒54期)  
ご案内有難うございました。残念ながら不都合の為欠席させて頂きました。お役目御苦勞様です。

●阿部 健 (S 28年卒55期)  
何時もご連絡ありがとうございます。右足を痛め歩行困難のため、欠席いたします。  
●太田 晴夫 (S 28年卒55期)  
体調不良につき欠席致します。

●高木 幸子 (S 28年卒55期)  
いつも東京白楊だよりありがとうございます。裁野公介君の金メダル、本当に頑張りましたね。皆様よろしくお伝え下さいませ。  
●河村 和子 (S 28年卒55期)  
元気でおります。

●赤澤 高 (S 28年卒55期)  
10月、函館のニッパチ会出席の為欠席します。「いかさし」も美味いけど友人達はそれ以上だ！  
●岩間 征一郎 (S 28年卒55期)  
幹事御苦勞様です。御盛会を祈ります。

●浅岡 勤 (S 29年卒56期)  
81才になり、天皇陛下にならない、退位とまでは行かないがひっこまさせていただきます。目下、箱館にならぬ浦賀奉行所復元運動に力を入れていきます。

●川口(大島)千代 (S 30年卒57期)  
「白楊だより」で、「リオオリンピック」で活躍の萩野公介さんの父親が、白楊ヶ丘同窓生であることを知り、感激いたしました。誇りに感じます。

●寺田 栞生(山本志保子) (S 30年卒57期)  
会報なつかしく拝見いたしました。●隈井(進藤)薫 (S 30年卒57期)  
いつもお世話ありがとうございます。

●松川(原)澄子 (S 30年卒57期)  
いつもお世話になっていきます。よろしくお祈り致します。  
●五十嵐 克至 (S 31年卒58期)  
ご案内有難うございます。体調不良で病院通いが続いています。会のご盛況をお祈りいたします。

●近藤 好介 (S 31年卒58期)  
今年も同窓会を欠席して、申し訳ありません。

●越智 鑿 (S 31年卒58期)  
東京支部親睦大会のお知らせ有難うございました。体調のこともあり、出席出来ず残念です。御盛会をお祈り致しております。  
●石塚 武 (S 31年卒58期)  
当日には先約があり残念ながら欠席させて頂きます。なんとか体調を維持し、自立自活して老後を凌いでおります。

●唐沢 フミ子 (S 31年卒58期)  
ご盛会をお祈り致します。  
●近藤 好介 (S 31年卒58期)  
ご案内、ありがとうございます。

●能戸 仵 (S 31年卒58期)  
貴会の益々の盛会を祈念致します。  
●広田 洋吉 (S 31年卒58期)  
盛会を祈念します。

●松下 俊一 (S 31年卒58期)  
いつもご案内頂きながら出席できず、誠に申し訳なく思っております。皆様の活躍とご盛会を祈ります。

●伊藤 光司 (S 32年卒59期)  
同窓会東京支部の盛会を祈ります。  
●白戸 寿男 (S 33年卒60期)  
いつもご苦勞様です。

●信太 紀二 (S 33年卒60期)  
高齢者ながら現役牧師のため、土曜日曜日曜日の準備で忙しく、同窓会出席困難。ご容赦下さい。

●加藤 紀興 (S 34年卒61期)  
61期の評議員です。我ら同期も後

期高齢者2年目を迎えました。夫々に体調不良や介護問題を抱える方が目立ってきました。それにもめげず、当面は2020年のオリニピック(80才)までは健康年齢を維持しようを合言葉にガンバっています。

●杉沢 雅 (S 36年卒63期)  
「東京白楊だより」ありがとうございます。

●佐藤 宣踐 (S 37年卒64期)  
いつも連絡ありがとうございます。幹事の皆様に感謝しています。

●谷岡 豊 (S 37年卒64期)  
このところ全く参加できず残念です。

●室澤 省平 (S 38年卒65期)  
本号(vol. 39)より始まった、函・中・人興味深く拝読しました。もし可能なら、卒業時の担任の先生のその当時の顔やスナップの写真がないのでしょうか。一番記憶に残っているものはその当時です。懐古的ではあります。将来の頑張りにつながるような気がします。

●高野 晃 (S 38年卒65期)  
10月22日の同窓会では、恩師富田勉夫先生(93才)の御健在、御活躍ぶりを紹介したいと思っております。

●稲越 淳子 (S 40年卒67期)  
安田様 同窓会の支部長を3期9年間のお勤め御苦勞様でした。感謝申し上げます。

●菅井 勝広 (S 40年卒67期)  
宮城支部で同窓の親睦と情報交換を行っております。皆様のご健勝と親睦大会のご盛会をお祈り申し上げます。

●中川 真 (S 40年卒67期)

松田幹夫君へ。出席して安田君にご苦勞様とねぎらいたいところですが、まだ出かけて一人で帰る自信がないので欠席します。安田君によりしくお伝え下さい。申し訳ない。安田康次支部長さん、9年もの間ご苦勞様でした。ありがとうございます。ごさいました。

●根本 京子 (S 40年卒67期)

安田支部長様 ご苦勞様でした。初めての出席です。宜しくお願ひします。花海くん残念です。冥福祈っております。偲ぶ会企画お願ひします。

●平塚 平三郎 (S 40年卒67期)

安田君、松田君、9年間御苦勞様でした。

●平沼 洋 (S 40年卒67期)

白楊だより、なつかしく拝見させて頂いてます

●宮川 憲司 (S 40年卒67期)

安田康次支部長、長期に渡る支部長活動いくつもの功績を残し、大変お疲れ様でした。

●小山 憲一 (S 40年卒67期)

安田君の支部長リタイアお疲れ様でした。残念ながら10/21〜26家内の実家、熊本、玉名、長崎を旅行しており出席できません。

●山崎 徹 (S 40年卒67期)

同期の仲間に発見頂き、年数回の会合を楽しんでおります。東京白楊だよりもお送り頂き、御会の活動様子知る事が出来ました。よろしくお願ひ申し上げます。

●田中(笹森)恵子 (S 41年卒68期)

幹事の皆様(同窓会、68期よいよい会)いつもお心遣いを頂き、有難うございます。年齢を重ねますと、何故か故郷「はこだて」が恋しくなります。そんな時には「白楊だより」を読み返したりして…

(表紙の写真が美しい!) これからもどうぞヨロシク。お元気で活躍下さいませ。

●木村 脩司 (S 41年卒68期)

会報ありがとうございます。同期のみなさんにお世話になっていきます。いつもお世話様です。ご盛会をお祈り申し上げます。

●園(中村)蘭美 (S 42年卒69期)

8月27日のひばら会に参加してきました。当日は無風で天気が良く、何百回とみていた函館山からの夜景ですが、駒ヶ岳がくっきりと見え、空気が澄みきっていて、本当に軽く感じました。すばらしい夜景でした。

●瀬戸 武一 (S 42年卒69期)

今年親睦大会への出席を予定しています。

●篠(斎藤)晶子 (S 47年卒74期)

皆様の活躍、同窓会の盛会をお祈りしております。

●牧野 正寛 (S 43年卒70期)

会報をなつかしく拝見しています。今年親睦大会への出席を予定しています。

●篠(斎藤)晶子 (S 47年卒74期)

皆様の活躍、同窓会の盛会をお祈りしております。

●小原 泰次 (S 48年卒75期)

幹事御苦勞様です。所用の為参加出来ませんが皆様へ宜しくお伝え下さい。

●高田 博行 (S 48年卒75期)

今しばらくサラリーマン生活を継続します。

●角掛 康弘 (S 48年卒75期)

幹事役お疲れ様です。仕事を続けており出席は難しい状況です。

●久米 教子 (S 48年卒75期)

いつも大変お世話様になっております。なつかしく函館の映像拝見しています。なかなか帰省する機会もなく残念です。東京支部の盛会をお祈り申し上げます。

●富田 剛 (S 48年卒75期)

去年勤務した油圧関連企業を卒業し、別分野の企業の技術顧問、日本技術士会中部本部の役員をしています。又、日本体育協会公認バスケットボール指導員、日本バスケット協会公認C級コーチとして、日本のバスケットボールの発展を願っています。

●星見 是広 (S 48年卒75期)

ありがたいことに、公私にわたり多忙です。

●桑原 洋子 (S 48年卒75期)

仕事で行けません。お手伝い出来なくてすみません。白川様の支部長、おめでとうございます。会の益々の発展をお祈りします。

●小栗 純子 (S 48年卒75期)

皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

●佐藤 久生 (S 49年卒76期)

毎年、広報誌等ありがとうございます。また事務局お疲れ様です。この3月で定年退職となりましたので、今回で退会したいと思います。お世話になりました。

●吉崎(丸山)加代子 (S 51年卒78期)

一足先に主人が今年還暦です。私達も来年はとびつくりしています。皆様もどうぞお元気で!

●関(町原)洋子 (S 51年卒78期)

東京白楊だより、いつもありがとうございます。会報楽しく読ませていただきました。

●森野(新城)光代 (S 54年卒81期)

離島では、地下鉄・タクシーに代わり、船が人々を運びます。栈橋辺りも旅客に便利な施設が整ってきています。皆様ご活躍下さい。

●阿部(鈴木)晃子 (S 55年卒82期)

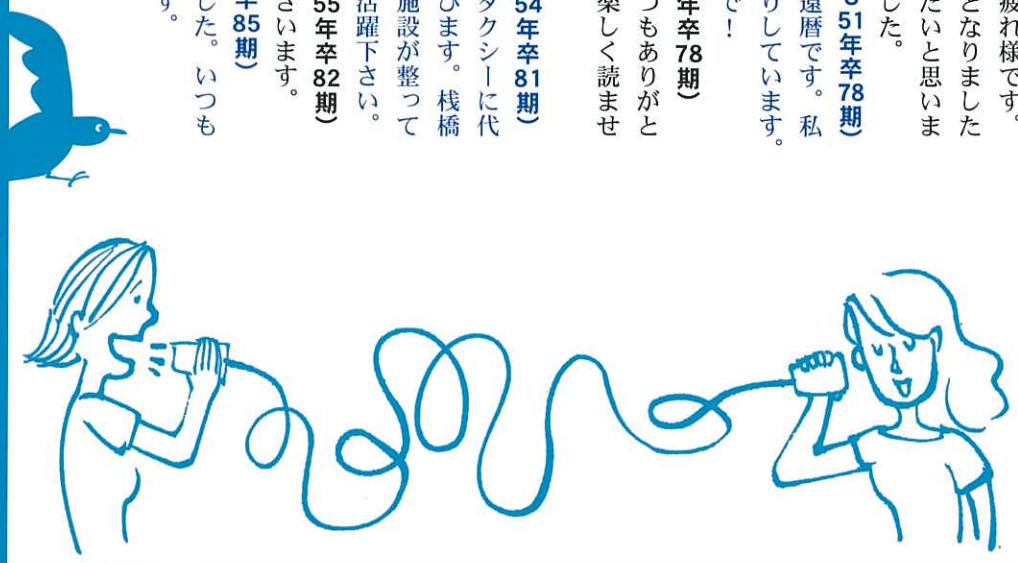
いつもありがとうございます。

●齊藤 実 (S 58年卒85期)

会報楽しく拝見しました。いつもありがとうございます。

●山本 晃平 (H 18年卒108期) この度ご縁がございまして結婚致しました。会の当日は結婚式を挙げる予定になっておりまして、残念ですが出席が叶いません。

●長尾 麻里菜 (H 19年卒109期) 毎年お声かけ下さり、有難うございます。欠席が続きます心苦しいですが、皆さまのご健勝、心よりお祝ひ申し上げます。



# お台場で BBQ!

## 第1回 新人歓迎会

日時：2017年7月2日（日）11時15分～14時15分

場所：デジキュー BBQ CAFE デックス東京ビーチ店  
（東京都港区）

会費：新卒生（119期）1000円、  
新卒生以外は5000円

司会：松永副支部長 挨拶・乾杯：白川支部長  
一本締め：高野副支部長

119期	桶本 泰生	76期	白川 正広（支部長）
119期	小林 葵	76期	高野 勝弘（副支部長）
119期	瀬川 烈矢	78期	岡部 あさ子（副支部長）
119期	山内 いずみ	81期	松永 久（副支部長）
119期	石川 龍星	71期	加納 元雄（理事）
119期	横井 洋平	73期	山田 朗（理事）
119期	長谷川 真紀	81期	渡辺 由美子（理事）
119期	田中 稜馬	83期	田口 志保（理事）
119期	梅崎 智之	87期	荒谷 修司（今年度親睦会幹事）
119期	上貞 冴	87期	池田 智之（今年度親睦会幹事）
119期	皿井 帝勢	87期	渡辺 岳夫（今年度親睦会幹事）
119期	工藤 真琴	87期	工藤 祐之（今年度親睦会幹事）
119期	西村 菜月	87期	末永 健（今年度親睦会幹事）
119期	金井 三佳	87期	澤口 亜樹（今年度親睦会幹事）
81期	髭本 由美子		

119期-14名、  
87期-6名、81期-1名、理事-8名

**参加者合計29名**



ポプラ会ゴルフコンペご報告

ポプラ会ゴルフコンペは、白楊ヶ丘同窓会の会員でゴルフをされる方はどなたでも参加できるものです。年1回開催の年もありましたが、会員の皆様からのご要望があり、ここ数年は、春～夏と秋～冬の年2回開催しております。2016年秋冬の第42回および2017年春夏の第43回の結果を報告致します。いずれも、個人戦を新ペリア方式で競い合いました。

第42回 ポプラ会ゴルフコンペ



日時:2016年11月14日(月)  
ゴルフ場:浦和ゴルフ倶楽部  
参加者:15名

優勝 62期 大味 勲氏  
2位 67期 安田 康次氏  
3位 70期 佐藤 勝義氏

晴天に恵まれ、秋のたいへん爽やかな気候のなかでプレーすることができました。

第43回 ポプラ会ゴルフコンペ



日時:2017年6月5日(月)  
ゴルフ場:浦和ゴルフ倶楽部  
参加者:10名

優勝 72期 佐藤 禎子氏  
2位 61期 堀内 恵子氏  
3位 72期 古旗 邦夫氏

梅雨入り宣言はあったものの、当日は晴天に恵まれ良いコンディションになりました。女性の活躍が目立った会でした。

次回は、秋～冬の会として、11月中～下旬頃に開催予定です。ゴルフをされる皆さんはまだまだ大勢おられるものと思います。参加ご希望の皆さまは、ぜひ、同窓会事務局までご連絡ください。あわせて一緒にゴルフ幹事をやっていただける方を募集しています！

東京臥牛会ゴルフコンペご報告

在京の函館市内の公立高校5校（西高校、東高校、中部高校、函館商業高校、函館工業高校）の同窓会の連絡・情報交換の場として「東京臥牛会」が平成22年に発足しています。従来、他校の同窓会との親睦ゴルフコンペは、「函館巴会」として、西高校、東高校、中部高校の3校で幹事を持ち回り、毎年春に団体戦を行っていましたが、上記の東京臥牛会に合わせてこちらも2015年にリニューアルしました。競技方法も団体戦はやめて新ペリア方式の個人戦で競い合いました。東高校が幹事校の第3回は、2017年の春に開催されました。結果を報告致します。

第3回 臥牛会ゴルフコンペ



日時:2017年4月18日(火)  
ゴルフ場:江戸崎カントリー倶楽部南コース  
参加者:40名(うち中部参加者10名)

優勝 安田康次氏(中部高校・67期)  
2位 藤谷敏雄氏(西高校)  
3位 荒木廣光氏(函館工業)  
ベストグロス賞 佐藤禎子氏(中部高校・72期)

この行事も軌道に乗ってきました。今後、幹事校は持ち回りで、毎年、春に開催される予定です。次回は、来年の春、西高校が幹事校となります。引き続き多数の皆様のご参加を期待いたします。

白川正広(第76期)記



函館の写真募集中!



募集! 自薦他薦問わず

随想 募集します  
伝えたいことなど  
1000字程度で  
お送りください



広告募集 1マス¥5000円  
4マス¥20000円

お問合せは事務局まで → [kancyujp@yahoo.co.jp](mailto:kancyujp@yahoo.co.jp) (アドレスが新しくなりました)

まだ来ぬあなたを50年前の同級生が待ってます

72期(昭和45年卒)東京同期会「東京さつき会」は  
毎年5月第3土曜日に開催!  
来年は・・・ 2018年5月19日(土) 17時より

72期東京同期会(東京さつき会)  
(広告協賛) 渡部総合法律事務所 新宿御苑前 電話03-3355-5415(代)

今年のさつき会イベント、クイズ大会の問題の一つとなった石川啄木の歌より



潮かをる北の浜辺の  
砂山のかの浜薔薇よ  
今年も咲けるや

平成28年度収支実績および  
平成29年度予算 (単位:円)

	28年度実績	29年度予算	
収入	年会費収入	1,473,000	1,500,000
	大会費収入	1,008,000	1,200,000
	寄付金収入	270,130	300,000
	会報広告収入	75,000	100,000
	その他	60	0
	合計	2,826,190	3,100,000
支出	大会関連費用	1,265,080	1,260,000
	会報関連費用	877,974	885,000
	諸会議費	258,504	240,000
	本部派遣費	220,868	220,000
	通信運搬費	245,768	245,000
	その他の運営費	254,269	240,000
	予備費	0	10,000
	合計	3,123,463	3,100,000
差引収支残	△297,273	0	
次期繰越剰余金	5,188,911	5,188,911	

日時;平成29年4月25日(火) 18:30~19:30

場所;インテリジェントロビー・ルコ D2会議室

新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル

出席者 29名

例年と同様、各期の評議員の出席のもと、以下の議案について審議した。財政の収支改善施策、若手会員の増強策などに関して建設的な意見が出され、全議案とも承認された。

## (1)平成28年度事業報告

親睦大会、東京白楊だより、ホームページ、渉外活動、総務等親睦大会は、理事会メンバーと各期有志の企画で、津軽三味線の北村姉妹の演奏、72期の写真家、丹羽修氏の「最近の函館風景」の展示があり活気に満ちた会であったと評価をいただいた。137名が参加。

## (2)平成28年度収支決算報告

親睦大会参加者が昨年度との比較で約40名減少、年会費納入者が500名を割り込み491名となったこと等が影響し、収入合計2,826,190円、支出合計2,218,133円となり、差引収支残は297,273円の赤字となった。真船監事による監査報告。

## (3)平成29年度事業計画案

親睦大会、東京白楊だより、ホームページ、渉外活動、同好会活動等今年度親睦大会は87期が幹事となり、グランドアーク半蔵門を会場に企画検討中。

昨年度の反省を踏まえ、積極的に若手会員の参画をめざし、①新卒者歓迎行事の開催、②50歳以下の同期会への支部からの補助等、新規施策を織り込んだ事業計画が承認された。

## (4)平成29年度収支予算案

昨年度の収入・支出額それぞれの実績を参考に、親睦大会参加者の増を織り込み、310万円の均衡予算とする。

## (5)役員異動の件

昨年度に任期3年の役員改選を実施したため、今回は理事の異動のみ。第35回親睦大会以降ご協力いただいている81期の渡辺由美子さんが新たに理事として承認された。

引き続き、同会場において会費制で懇親会を実施した。

白川正広 (第76期) 記

## ご寄付御礼

昨年度は29名の方からご寄付を頂戴いたしました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。(敬称略 アイウエオ順)

41期 毛利啓次	59期 新田正勝
42期 山内正弥	63期 土橋道子
43期 葛西善一郎/神山茂郎	64期 二宮(清水)信子
44期 渡辺鉦一	68期 今井浩三
46期 岡本榮二/賀山正一(ご遺族)	72期 谷口雅典
多和田昭二/渡辺保二	78期 島津路郎
47期 堀田善和	85期 柳川清尊
52期 井上稔/長島 康	
53期 阿部(千田)彰子/町谷碩思	
54期 種田忠夫/松田守正	
55期 赤澤 高	
56期 浅岡 勤/大西孝司/加藤正秋/ 津田恭一/原口(槻)久江/	

## 郵便局から

取り扱い金融機関：ゆうちょ銀行  
口座番号：00190-1-124291  
白楊ヶ丘同窓会東京支部

郵便局備え付けの用紙、または会報に同封の  
払込票をご利用ください。

## ホームバンキングや銀行ATMから

- 振込人氏名：ご自身の氏名の前に、必ず「卒業年度・期」を記入してください。  
例「S44, 71 カノウモトオ」
- 振込先銀行：ゆうちょ銀行
- 店名：〇一九(ゼロイチキュー) 店
- 口座種目：当座
- 番号：0124291

傘寿記念で「金沢・輪島ツアー」

満80歳の傘寿を記念して、平成28年10月23・24日に向け、函館から駆け付けた2名を加え、男性6名・女性4名の総勢10名が北陸新幹線で「金沢・輪島ツアー」と銘打って昔々の青春を大いに謳歌してきた。

ところが思わぬハプニングの連続で、肝を冷やしたところも多かったが、それだけに思い出多い旅でもあった。その第一は、本来は加賀百万石の金沢市内を満喫する予定で計画してきたのだが、4か月前の6月になっていざホテルを手配しようとしたところ、四方八方手を尽くしてもすべて満室で全員まとめて宿泊できる場所は皆無。どうやら当日は地元金沢で全国規模の「金沢マラソン」が開催されるためと分かった。そこで温泉地ならばと和倉温泉に急遽、予定を変更することになった。

ハプニングの第二は、当日いざ東京駅から出発という段になって、一人が到着しない。まだ山手線の車内で遅れると分かり、一足先に出発。ところが後から乗ったはずの某嬢の方が先に金沢駅に到着しているではないか。なんと一行の乗った各駅停車の「はくたか」号を、快速の「かがやき」号が途中で追い越したためと分かった。何ともあれ一件落着いてヤレヤレ。ここから市内観光。とはいっても滞在時間は4時間しかない。そこ

まずは必見第一の「兼六園」へ。シンボリック存在の徽軒(ことじ)灯籠を始め、瓢池、根上松など雪月風花を楽しんだ。とはいえ、足に不安のある何人かは散策をあきらめランチに舌鼓。くまなく回るには2時間以上はかかるであろうほどほどにして次は隣にある「金沢21世紀美術館」へ。不思議で面白い現代アートがいっぱいあるのだが、これも残念ながら時間がなく、駆け足で見学。ここで第三のハプニング発生。バスで駅まで戻ろうとしたところ、また1名が行方不明。しばらく探したが見つからず、止む無く駅へ。ところが駅に着いたら某氏がすでに待っているではないか。ヤレヤレ。出発まで少し時間があったので、駅中の金沢百番街でお土産などのショッピング。九谷焼やキュートな和雑貨、きんつば、長生殿、加賀麩などほいほいものがいっぱいあってキリがない。あつという間に時間が来てしまい、ここから七尾線に乗り込み和倉温泉駅へ。送迎バスで午後4時過ぎにようやくホテルに到着。

翌日は朝から雲一つない快晴。ホテルチャーターのバスに乗り込み、一路「輪島の朝市」を目指して出発。折角だからと能登島大橋を渡り、七尾湾の向かいに見える能登島を経由。海を渡る橋からの眺めは最高だった。ところがまたしても第四のハプニングが発生。なんと乗車券の入ったバッグをホテルに忘れたことが判明。ホテルに電話して所在は確認できたが、乗車券は駅で再度購入せざるを得なくなった。途中にあるボラ漁の網を見張る「ボラ待ちやぐら」や穴水町にある高さ8.4mの「能登大仏」などを眺めながら1時間ほど到着。運転手さんの勧めもあってまずは「輪島キリコ会館」へ。能登の祭礼で練り歩く巨大な奉燈「キリコ」が大小20本以上も展示されており、照明によって勇壮、幻想的な情景が再現されている。そして輪島朝市へ。平安朝1200年の歴史を持ち、350m続く「朝市通り」には200以上の露店が立ち並んでいる。鮮魚や干物などを売るおばちゃんたちの元気な声に誘われて?つい買ってしまった人も。昼食は通りの中にある洋食屋さんへ。折角だからと輪島牛のステーキやカキフライなどを注文。そしていよいよ帰路へ。まずは穴水駅でキップを購入してから、のと鉄道で和倉温泉駅へ。そして金沢で北陸新幹線に乗り換え、何とか定刻午後8時少し前に無事に東京駅へ。

海の景色が見える露天風呂で長旅の疲れをリフレッシュ。とくに女性用の真珠風呂はとてゴージャスで好評だったようだ。さすがに能登唯一の温泉だけのことはあった。そしていよいよ待望の夕食。旬の食材や新鮮な地魚を始め豪華な?加賀料理がお膳いっぱい並び。おいしい地酒などのアルコールが加わり、舌の回転も滑らかになり、昔話や健康談義に論壇風発こよなく楽しい一夜を満喫した。

翌日は朝から雲一つない快晴。ホテルチャーターのバスに乗り込み、一路「輪島の朝市」を目指して出発。折角だからと能登島大橋を渡り、七尾湾の向かいに見える能登島を経由。海を渡る橋からの眺めは最高だった。ところがまたしても第四のハプニングが発生。なんと乗車券の入ったバッグをホテルに忘れたことが判明。ホテルに電話して所在は確認できたが、乗車券は駅で再度購入せざるを得なくなった。途中にあるボラ漁の網を見張る「ボラ待ちやぐら」や穴水町にある高さ8.4mの「能登大仏」などを眺めながら1時間ほど到着。運転手さんの勧めもあってまずは「輪島キリコ会館」へ。能登の祭礼で練り歩く巨大な奉燈「キリコ」が大小20本以上も展示されており、照明によって勇壮、幻想的な情景が再現されている。そして輪島朝市へ。平安朝1200年の歴史を持ち、350m続く「朝市通り」には200以上の露店が立ち並んでいる。鮮魚や干物などを売るおばちゃんたちの元気な声に誘われて?つい買ってしまった人も。昼食は通りの中にある洋食屋さんへ。折角だからと輪島牛のステーキやカキフライなどを注文。そしていよいよ帰路へ。まずは穴水駅でキップを購入してから、のと鉄道で和倉温泉駅へ。そして金沢で北陸新幹線に乗り換え、何とか定刻午後8時少し前に無事に東京駅へ。

ものすごくあわたたしく、てんやわんやのツアーではあったが、とても楽しかった。皆さん異口同音にまた一緒に旅行したいワ。ただし、今度は歳も考えてもう少しゆつたりとした旅にしたいネ、と。



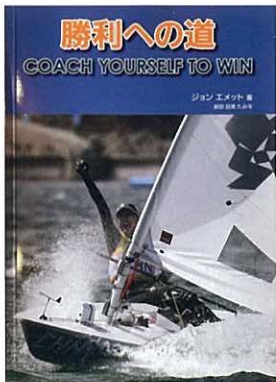
第68期よいよい会 木戸正文

毎年二回、首都圏在住者を中心として同期会を開催している。本年度第一回例会は二月十八日、水戸黄門様ゆかりの名園、特別史跡「小石川後樂園」で観梅と園内の「涵徳亭」で早春の香りを楽しみながらの会席とした。当日は梅まつり開催中で和服の来園者がチラホラ見受けられ、児玉久美子さん、田中恵子さんも和服で出席してくれた。初参加は渡辺玲子(田中)さん。近況報告の後白崎君による「だんだん良くなる五本締め」で中締めとした。

その後、山を下り「コピスガーデン」(バラ園)に立ち寄り、那須インター付近の蕎麦屋で遅い昼食、午後三時頃解散とした。新幹線で帰途に就く者、ステーキ大会に行く者に分かれた。欠席者動向 西野翠(上原)さん、観梅の会当日に日本語と英語教師として台湾の大学へ赴任の為出発。越中陽子(幡谷)さん成田(富里)で健康食品の店(じゃんじゃん)を経営、良いお菓子が沢山揃えているのでお問い合わせをとの事。目黒たみを君、六月例会当日は小

六月例会は六月十八日・十九日、新緑の那須高原と宇都宮餃子を楽しもうとの企画。宇都宮在住の佐藤朝子さん(あさこ動物病院院長)が企画、宿泊他諸々の手配をしてくれた。当日はJR宇都宮駅に十一時半集合。さっそく市内の「珉亭」で当店自慢の餃子をメインにランチをした。「世界で三番目に旨い」という入口の暖簾で有名。丸山、内藤、白崎君の車で大谷観音に立ち寄り、那須高原温泉の「自在荘」に宿泊・宴会。函館から新幹線で菱沼宏英君が到着し合流。翌日は茶臼岳をめざし出発。道中、森の中のベーカーリーとして評判の「ベニレーン」へ立ち寄り、名物ブルーベリーブレッドをそれぞれゲット。月曜日の朝十時というのに大変な人気。那須高原の木々の中を抜け、七合目からロープウェイで茶臼岳へ。九合目にある山頂駅付近を散策、小林真哉君の解説でイワツバメ、イワカガミ等々を観察。





目黒たみを (第68期)  
「勝利への道」訳書のご紹介



樽祝津でレーザー級のレースがあるので欠席。我孫子市在住、手賀沼でヨット教室を開催中。今回都合のつかなかった方、是非ご出席いただきたく。案内はメールでお知らせしています。木戸宛お問い合わせください。

刊行にあたり訳者より

2017年4月24日  
第一版第一刷発行  
著者 ジョン・エメット  
翻訳 目黒たみを  
監修 大谷たかを  
査読 荒井かおる  
表紙写真提供 Getty images  
裏表紙写真提供 松本和久  
印刷 幸文堂  
発行 ダーマ出版

学生時代に始めたヨット好きが高じて、大学卒業と同時に自作艇で北海道から沖縄まで日本列島を一周。次の長期航海の資金と経験を蓄積するために、主として中近東石油地帯での石油開発技師として30年勤務。定年間近で中途退職、目標としたケープホーン回航を含め、4年間に及ぶ単独世界一周を無事完了。その後、生涯スポーツとして始めたのが、小型ヨットのレーザークラス。思うような上達が見込めないで、落ち込んでいた時に出会ったのが本書です。まさに求めている内容であることを確信し、さらに理解を深めるために、非才を顧みず取り組んだ訳書でした。幸いレーザーの大谷さん(40余年前は「舵」編集部)の後押しと、江ノ島を中心に活動しているプライベートコーチの荒井さんの協力を得て刊行する運びとなりました。お二人の真摯な協力を始め、作業の過程で当方の無理難題に快く応じてくださった幸文堂の田口

社長他、お世話になった多くの皆様に心より感謝申し上げます。老若男女、初心者からオリンピックを目指す上級者まで、本書が皆様のスキルアップにつながることを心より念じております。尚本書では、目新しい用語がいくつか使用されています。それらは最初の出現時に「\*」で示しました。監修者の言葉と共に巻末の用語解説を参照して下さい。平成29年4月吉日 目黒たみを

目黒たみを (第68期 昭和41年卒)  
2005年から約4年かけ愛艇DHRA号で単独世界周航敢行。東京白楊だより第33号(H22)に航海報告記載。現在、Laser級ヨット、グレートグランドマスターズ部門でヨットレース参戦中。  
《問合せ》  
meguro\_dhama@com.home.ne.jp



●大西 望(S53年卒80期)  
昨春秋に久々に帰函し、末広会へ出席しました。東京支部の益々のご発展をお祈り申し上げます。  
●児島美也子(S53年卒80期)  
相変わらず介護が続いておりますが、私自身は元気でおります。

日頃より同窓会東京支部の活動へのご協力、ご支援に感謝申し上げます。  
会報「東京白楊だより」40号17ページの「物故者」欄に誤りがありました。  
以下のとおり訂正いたしますとともに、ご関係の皆様には謹んでお詫び申し上げます。

40号 17ページの訂正 [昭和30年卒57期] の方 (敬称略)

- ・物故者 ; 大田順三
- ・転居不明者 ; 佐藤幸男、松澤祐介、見尾田瑞穂、吉岡(佐藤)玲子
- ・ご存命確認 ; 中西繁道

# 白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第41回親睦大会のご案内

ゲストイベント  
**日英スター競演!?**  
**ほぼ本物でSHOW!**

**とき** 2017年11月18日(土) 13:00開演 (12:30~受付開始 15:30終了予定)  
**ところ** グランドアーク半蔵門 **参加費** 8000円 学生無料 (ただし年会費3,000円納入者のみ適用・当日会場での納入可)

発行人 白楊ヶ丘同窓会東京支部  
編集責任者 朝緑 高太(99期)  
発行日 平成29年9月2日

東京事務所 千代田区小田6-16-7 607  
白川正広 044-366-2203

紙面デザイン ミライデザイン/イシバシキキ



### グランドアーク半蔵門 ご案内

〒102-0092東京都千代田区隼町1番1号 tel.03-3288-1628

- #### ACCESS
- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩2分
  - 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」3b出口より徒歩3分  
※3b出口はエスカレーター部分が1番出口より長く、荷物がある場合に便利です
  - 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」駅エレベーターより徒歩7分
  - 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩7分
  - JR「四ツ谷駅」より徒歩15分
  - 東京駅(丸の内南口タクシー乗り場)よりタクシーにて約10分

詳しくは… <http://www.grandarc.com/>

## パフォーマー紹介



### REI

伝説のバンドQUEENのボーカル、フレディー・マーキュリーのインパソネーター(本物になりきるパフォーマー)として全国のイベントステージで活躍中。完全エアパフォーマンスによる面白おかしいショータイムで、観る人全員を盛り上げチャンピオンにさせます!



### PinkLady UNIT NAONON

#### 大村 奈央(ミュージカル俳優)

幼少期より器械体操、クラシックバレエを習いミュージカルの舞台に立つ事が夢で2007年劇団四季入団。ライオンキングをはじめ数々の作品に出演。退団後、2015年9月の舞台『Japanesque』がきっかけでポールダンスを始める

#### 大木 のん(シンガー)

幼い頃に新体操、ピアノ、歌、ダンスに触れ、音楽の素晴らしさにのめり込む。音楽大学では声楽を専攻。オペラ、ミュージカル、映画、TVCM、モデルなど様々なジャンルで活動中。

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様、毎年恒例の親睦大会のお知らせです。会場は今年も、皇居の杜を臨むホテル「グランドアーク半蔵門」です。イベントの企画、運営担当は、昭和60年卒業の第87期が務めさせていただきます。

当日は大先輩から最近の卒業生までが、故郷の話や学校の話、近況など大いに語らい、親睦を深めていただければ幸いです。

今年のイベントは、とにかく楽しんでいただくこと、笑顔になっていただくことだけを考え企画いたしました。

企画の性質上、詳細は当日まで明かせませんが、想い出に残り、また来年も参加したくなるようなショーに仕上げますので、乞うご期待! お楽しみに!!

また、会場には87期生が古いアルバムから持ち寄った写真を、函館と道南のマップに貼り付けた制作物を展示する予定です。こちらもお話のネタには是非ご覧くださいませ。

幹事の87期生、丁度50歳が中心となりますが、32年ぶりに文化祭に出席するような気持ちで暑い夏を過ごしています。是非同窓生お誘い合わせの上お集まりくださいませ。(幹事一同)

**函館の写真募集中!**  
事務局までお送りください。  
kancyujp@yahoo.co.jp



2ページ写真「道南を走るSL」  
撮影：黒田 信彦 (第73期)

### 編集後記

若い人から、「年会費の払込票は不要。ネットでの振込みがどうしたらよいか?」との質問を受けた。「ペーパーレス」の掛け声で結果的に紙の消費量を増やしてしまった時代は終わり、「紙は不要。送られても困る。」という時代が、本格的に始まったようである。

バックナンバーの表紙を並べた本号の表紙は壮観だが、80号、100号記念号は「表紙」のある会報なのか。そして、その頃の日本語はどう変わっているのか。「言葉」にこだわって会報に関わってきた者としては、楽しみと不安が交錯する編集作業でした。(加納元雄 71期)

今回より、編集責任者を担当させていた今更にお知らせです。

前責任者の山田さん(第73期)からスケジュール表などをいただいて、ゆったりと構えていたらあつという間に発行数ヶ月前となり、駆け足での編集作業となりました。

今回も多くの方々より記事を寄稿いただき、会報発行40回目の記念号を無事発行することが出来たこと、感謝致します。皆様の活動など、是非とも本誌へのご寄稿をお待ちしております。(朝緑高太 99期)

会報第四〇号という節目の編集を終えて喜びに堪えません。

2012年より昨年度まで5年に渡り会報の刷新に取り組んできましたが、今号より編集を99期朝緑さんへバトンタッチしました。私はこれからも後方支援という形で朝緑さんと編集に携わって行きますので、これからも皆様の原稿や写真をお待ちしております。(山田朗 73期)